

4 教務関係

(1) 入学者、在籍者の状況

① 公益学部

(ア) 男女別在籍者数 (平成 26 年 5 月 1 日現在)

性別	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	計
男	9 7	9 5	8 8	1 0 5	3 8 5
女	5 7	7 1	4 6	5 2	2 2 6
計	1 5 4	1 6 6	1 3 4	1 5 7	6 1 1

※休学者の数は在籍者の内数

(イ) 出身地別在籍者数 (平成 26 年 5 月 1 日現在)

出 身 地		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	計
山形県内	村山	4 2	3 3	3 4	4 5	1 5 4
	最上	1 4	6	8	7	3 5
	置賜	2 2	1 3	1 0	2 8	7 3
	庄内	3 8	6 3	4 3	3 9	1 8 3
	小計	1 1 6	1 1 5	9 5	1 1 9	4 4 5
山形県外	青森県	3	3	3	3	1 2
	岩手県	1 0	1 6	1 7	1 3	5 6
	宮城県	9	1 5	3	6	3 3
	秋田県	1 4	1 2	1 3	1 3	5 2
	福島県	1	2	3	2	8
	神奈川県	1	1	0	0	2
	山梨県	0	0	0	1	1
	新潟県	0	2	0	0	2
	小計	3 8	5 1	3 9	3 8	1 6 6
合 計		1 5 4	1 6 6	1 3 4	1 5 7	6 1 1

(ウ) 退学・除籍・休学の状況 (平成 25 年度) (平成 26 年 5 月 1 日現在)

学 年	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		計		累 計
退学者	8		6		2		6		2 2		2 6 8
除籍者	1		1		0		1		3		2 2
休学者	前期 0	後期 1	前期 0	後期 1	前期 0	後期 1	前期 2	後期 3	前期 2	後期 6	—

②公益学研究科

ア 男女別在籍者数（平成 26 年 5 月 1 日現在）

性別	修士 1 年	修士 2 年	博士後期 1 年	博士後期 2 年	博士後期 3 年	合計
男	4	7	1	1	2	15
女	3	1			1	5
計	7	8	1	1	3	20

イ 出身地別在籍者数（平成 26 年 5 月 1 日現在）

出身地		修士 1 年	修士 2 年	博士後期 1 年	博士後期 2 年	博士後期 3 年
山形県内	村山	1			1	
	最上	2	1			
	置賜					
	庄内	3	7			2
	小計	6	8	0	1	2
山形県外	東京			1		
	栃木					1
	小計	0	0	1	0	1
国外	中国	1				
合計		7	8	1	1	3

ウ 退学・休学の状況（平成 25 年度）

学 年	修士課程	博士後期課程	計
退学者	1	0	1
除籍者	0	0	0
休学者	0	1	1

2013年度時間割

平成25年4月1日

(2) 公祉学部履修科目 ○前期セメスター

月				火				水				木				金				土			
コード	科目名	教員名	教室	コード	科目名	教員名	教室	コード	科目名	教員名	教室	コード	科目名	教員名	教室	コード	科目名	教員名	教室	コード	科目名	教員名	教室
1時間 9:00～ 10:30	1年以上	1101 英語Ⅱ（リスニング）⑤	スチュワート	202	2101 英語Ⅰ（基礎英語）③	本間ひろみ	202	3101 公益概論	オムニバス	301	4101 英語Ⅱ（リスニング）①	佐藤 則子	203	5101 英語Ⅰ（基礎英語）⑦	栗本 昌	203							
		1102 英語Ⅱ（リスニング）⑦	菅井マリ	206	2102 中国語Ⅰ①	沢谷 周二	203				4102 英語Ⅱ（リスニング）④	杉山 肇	204	5102 中国語Ⅱ③	沢谷 周二	202							
		1103 英語Ⅰ（基礎英語）④	佐藤 則子	203	2103 情報リテラシーⅠ⑦	武市 美弘	205				4103 情報リテラシーⅠ②	廣瀬 美紀	204	5103 情報リテラシーⅠ①	広瀬 健二	204							
		1104 西洋史a	遠山 茂樹	103	2104 西洋史a	遠山 茂樹	103				4104 情報リテラシーⅠ⑧	山本 直美	205										
	2年以上	1105 福祉サービスの組織と経営＜基本＞	熊井 保久	104	2106 相談援助の理論と方法Ⅰ＜応用Ⅰ＞	熊井 保久	104	3102 高齢者に対する支援と介護福祉制度Ⅰ＜基本＞	熊井 保久	105	4105 理論経済学＜基本＞	桑名 肇三	103	5104 行政学＜基本＞	和田 明子	103							
		1106 環境経済学＜基本＞	桑名 肇三	105				3103 農作物科学＜応用Ⅰ＞	五十嵐高治	103	4106 共創の技法Ⅰ＜基本＞	塩井 孝	212	5105 障害者に対する支援と障害者自立支援制度＜基本＞	和田 明子	103							
								3104 データベース応用	福山 泰男	102	4107 資源循環型社会論＜基本＞	古山 隆	105	5106 資源・エネルギー論＜応用Ⅰ＞	古山 隆	104							
		1107 ※道德教育研究	中道 邦彦	210				3105 中国語会話	福山 泰男	209				5107 ※教育カウンセリング	廣瀬美理子	209							
		1108 地域福祉演習Ⅰ＜応用Ⅱ＞	武田・澤道	207	2107 公益組織体会計＜応用Ⅱ＞	水田 健輔	105	3106 ※教育原理	三原 啓子	208	4108 英国の森と庭園	遠山 茂樹	104	5108 障害者福祉論Ⅰ（2007～8）	澤道みさ子	104							
	3年以上	1109 地域福祉演習Ⅲ＜応用Ⅱ＞	武田・澤道	207	2108 社会福祉援助技術Ⅱ（2007～8）	熊井 保久	104	3107 ニューランドの社会福祉＜応用Ⅱ＞	武田真理子	104	4109 情報処理特講Ⅰb	神田 直弥	209										
	1110 情報処理特講Ⅰa	西村まどか	102				3108 老人福祉論Ⅰ（2007～8）	熊井 保久	105														
2時間 10:40～ 12:10	1年以上	1201 英語Ⅱ（リスニング）③	本間ひろみ	207	2201 中国語Ⅰ②	呉 衛峰	210	3201 庄内の文化	オムニバス	301	4201 英語Ⅱ（リスニング）②	佐藤 則子	203	5201 中国語Ⅱ①	沢谷 周二	202							
		1202 英語Ⅱ（リスニング）⑥	菅井マリ	206	2202 中国語Ⅰ③	沢谷 周二	203				4202 情報リテラシーⅠ⑥	廣瀬 美紀	204	5202 英語Ⅰ（基礎英語）②	本間ひろみ	207							
		1203 英語Ⅰ（基礎英語）⑤	佐藤 則子	203	2203 英語Ⅰ（基礎英語）①	本間ひろみ	202				4203 情報リテラシーⅠ⑩	山本 直美	205	5203 英語Ⅰ（基礎英語）⑥	栗本 昌	203							
		1204 情報リテラシーⅠ⑨	竹村 孝	205	2204 情報リテラシーⅠ③	神田 直弥	204				4204 中国語Ⅱ②	沢谷 周二	202	5204 基礎の生態学	五十嵐敬司	103							
	2年以上	1205 英語Ⅵ（スピーキング）③	ローウェン	209	2207 英語Ⅴ（ライティング）②	松田 肇	212	3202 英語Ⅴ（ライティング）③	松田 肇	212	4205 英語Ⅴ（ライティング）①	松田 肇	212	5205 英語Ⅵ（スピーキング）①	菅井マリ	206	6201 アントレプレナーシップ論Ⅰ＜応用Ⅰ＞	青木 孝弘	105				
		1206 英語Ⅵ（スピーキング）⑥	スチュワート	202	2208 中国語Ⅵ③	福山 泰男	209	3203 中国語Ⅵ②	福山 泰男	209	4206 更生保護制度＜応用Ⅰ＞	竹原 幸太	211	5206 基礎プログラミングⅠC（⑦⑧⑨）	広瀬 健二	102							
		1207 中国語Ⅴ③	呉 衛峰	208	2209 基礎プログラミングⅠA（①③）	西村まどか	101	3204 TOEIC（上級）	栗本 昌	203	4207 基礎プログラミングⅠD（⑤⑥）	神田 直弥	101	5207 数値情報処理	西口 宏美	204							
		1208 相談援助の理論と方法Ⅰ＜応用Ⅰ＞	小関 久恵	104				3205 環境社会学＜応用Ⅰ＞	呉 尚浩	105	4208 中山間・離島地域論＜応用Ⅰ＞	中山 公雄	207										
		1210 中国語Ⅵ①	沢谷 周二	201				3206 情報処理基礎論a	西村まどか	102	4209 特別プログラムⅡ（エネルギー・経済・政策論a）	山家 公雄	207										
	3年以上	1209 社会福祉援助技術Ⅰ（2007～8）	小関 久恵	104	2210 経済学史＜応用Ⅱ＞	三島 恵之	103	3207 ※地理学フィールドワーク	松山 肇	104	4210 ※社会科・公民科指導法Ⅰ	尾 浩一	210	5208 エコ・ビジネス論＜応用Ⅱ＞	古山 隆	104	6105 農業の国際支援＜応用Ⅱ＞	森野 昌人	103				
				2211 相談援助実習指導Ⅰ①＜応用Ⅱ＞	鎌田 剛	201	3208 フードデザイン＜応用Ⅱ＞	五十嵐高治	103	4212 応用心理学b	尾身 祐介	209	5209 空間形成と地域政策	松山 肇	105								
				2212 相談援助実習指導Ⅰ②＜応用Ⅱ＞	小関 久恵	207																	
				2213 相談援助実習指導Ⅰ③＜応用Ⅱ＞	竹原 幸太	211																	
3時間 13:00～ 14:30	1年以上	1301 環境サイエンス序論	山本 裕樹	105	2301 社会学の考え方	渡辺 曉雄	105	3301 キャリア入門	オムニバス	301	4301 簿記の考え方①	原田 清廣	104	5301 論理的文章作成法	三原 啓子	103							
		1302 現代社会と福祉Ⅰ	熊井 保久	104	2302 政治学	相田 明子	301				4302 共創まちづくり論	塩井 孝	301	5302 多文化共生論	森 彰夫	104							
		1303 現代企業経営	尾身 祐介	301	2303 世界地誌（2012～13）	木村真代	104				4303 人文地理学a	杉山 肇	105										
	2年以上	1304 英語Ⅵ（スピーキング）④	ローウェン	201	2304 韓国語Ⅰ	佐々木健美	201	3302 英語Ⅵ（スピーキング）⑦	フエegg	202	4304 TOEIC（中級）	佐藤 則子	203										
		1305 中国語購読a	呉 衛峰	208	2305 ロシア語Ⅰ	金子真理子	203	3303 英語Ⅴ（ライティング）④	栗本 昌	203	4305 英語Ⅴ（ライティング）⑦	菅井マリ	206	5303 英語Ⅴ（ライティング）⑤	栗本 昌	203	6301 アントレプレナーシップ論Ⅰ＜応用Ⅰ＞	青木 孝弘	105				
					2306 世界・日本・地域社会	高橋 修	208				4306 英語Ⅵ（スピーキング）⑤	ローウェン	209	5304 英語Ⅵ（スピーキング）②	菅井マリ	206							
					2307 英語Ⅴ（ライティング）⑥	松田 肇	212				4308 地域福祉の理論と方法Ⅰ＜基本＞	武田真理子	103	5305 情報デザイン論	広瀬 健二	102							
					2308 基礎プログラミングⅠB（②④⑩）	西村まどか	101				4309 情報処理演習a	山本 直美	205										
					2309 中国語Ⅴ②	福山 泰男	209	3305 ※教育行政	佐藤 敬彦	104	4310 特別プログラムⅢ（再生可能エネルギー論a）	山家 公雄	212	5306 ※教育の方法と技術	西口 宏美	204							
	3年以上	1306 公共政策論＜応用Ⅱ＞	内藤 徳	203	2310 実用情報（2007～9）	神田 直弥	205	3306 相談援助演習Ⅱ＜応用Ⅱ＞	熊田 剛	206	4311 簿記論Ⅰ（2007～8）	原田 清廣	104	5307 国際公共政策論＜応用Ⅱ＞	杉山 肇	105	6105 農業の国際支援＜応用Ⅱ＞	森野 昌人	103				
	1307 社会福祉原論Ⅰ（2007～8）	熊井 保久	104	2311 実用情報（2010～11）	神田 直弥	205	3307 相談援助演習Ⅳ＜応用Ⅱ＞	竹原 幸太	211	4312 地域福祉論（2007～8）	武田真理子	103	5308 実用英語（SPI）	本間ひろみ	207								
	1308 基礎プログラミングⅢ	広瀬 健二	102	2312 ※世界地誌（2009～11）	木村真代	104	3308 教育行政（2007～8）	佐藤 敬彦	104				5309 ロシア語Ⅵ（2008～9）	金子真理子	202								
4時間 14:40～ 16:10	1年以上	1401 社会保険Ⅰ	岡部 公一	301			3401 人体の構造と機能及び疾病	矢島 阿部 智恵	104	4401 簿記の考え方②	原田 清廣	104	5401 Oral Communication	菅井マリ	206								
		1402 English PresentationⅠ	菅井マリ	206			3402 日本史a	本間 勝彦	105	4402 Intensive ReadingⅠ	松田 肇	212											
	2年以上	1403 会計学＜基本＞	水田 健輔	105	2401 非営利組織論＜応用Ⅰ＞	沢川 智明	103	3403 中国語検定対策a	沢谷 周二	201	4403 環境マネジメント論＜応用Ⅰ＞	古山 隆	201	5402 社会福祉と公益＜基本＞	相田 明子	103	6401 アントレプレナーシップ論Ⅰ＜応用Ⅰ＞	青木 孝弘	105				
		1404 食と健康＜応用Ⅰ＞	平松 緑	104	2402 ジェンダー論＜応用Ⅰ＞	伊藤真知子	105				4404 行政法＜応用Ⅰ＞	内藤 徳	201	5403 国際関係論＜応用Ⅰ＞	杉山 肇	103							
	1405 情報処理基礎論b	神田 直弥	204	2403 韓国語3	佐々木健美	201				4405 フィールドワーク論＜基本＞	渡辺 曉雄	301	5404 アントレプレナーシップ演習Ⅰ＜応用Ⅰ＞	青木 孝弘	104								
	1406 国際協力＜基本＞	森 彰夫	103	2404 ロシア語3	金子真理子	202	3404 ※体育と健康（適任）	山岸 文彦	104	4406 障害者に対する支援と介護・医療福祉制度＜基本＞	竹原 幸太	105											
3年以上	1407 ※社会科・地歴科指導法Ⅰ	高橋 修	208	2405 情報処理特講Ⅰc	広瀬 健二	101	3405 医学一般Ⅰ（2007～8）	森田 敏郎	201	4407 簿記論Ⅰ（2007～8）	原田 清廣	104											
	1408 社会保険論Ⅰ（2007～8）	岡部 公一	301	2406 ロシア語Ⅴ（2008～9）	金子真理子	202				4408 ライフドキュメント（2007～8）	渡辺 曉雄	301											
										4409 児童福祉論Ⅰ（2007～8）	竹原 幸太	105											
5時間 16:20～ 17:50	1年以上	1501 基礎の自然科学（化学）	市田 光	実験室	2501 統計の考え方	西村まどか	102	3501 ★国語基礎	森田 敏郎	201	4501 ★数学基礎	中村 智哉	201	5501 基礎の自然科学（物理）	山本 裕樹	実験室							
		1502 自然地理学a	澤 祥	104	2502 基礎の自然科学（生物）	平松 緑	実験室																
		1503 基礎経済学	尾身 祐介	301	2503 共創の技法Ⅰ	オムニバス	103																
	2年以上				2504 相談援助の基礎と専門職Ⅰ	小関 久恵	104							4502 地方財政論＜応用Ⅰ＞	出井 信夫	104							
6時間 18:00～ 19:30	1年以上																						
	2年以上																						
	3年以上																						
	4年以上																						
	</																						

○1年生は上段のみ対象。※印は教職課程の学生のみ履修可。★印はリメディアル科目。アンダーラインがあるものは、再履修者が対象。○（xxxx）内の数字は、入学年度

注1 1年生の情報クラス：英語①～⑦⇒①～⑦クラス 中国語①～③⇒⑧～⑩クラス

注2 2年生の情報クラス（A～Dクラス）：英語①・③⇒A 英語②・④・中国語③⇒Bクラス 英語⑥・中国語①・②⇒Cクラス 英語⑤・⑦⇒Dクラス

2013年度時間割

平成25年9月24日

〇後期セメスター

		火				水				木				金			
		コード	科目名	教員名	教室	コード	科目名	教員名	教室	コード	科目名	教員名	教室	コード	科目名	教員名	教室
1時間 9:00～ 10:30	1年以上	1151	英語Ⅳ（スピーキング）①	ローウェン	202	2151	英語Ⅲ（リーディング）②	香井マリ	206	3151	山形地域論	オムニバス	301	4152	英語Ⅲ（リーディング）⑤	栗本 昌	203
		1152	英語Ⅳ（スピーキング）④	スチュワート	203	2152	中国語Ⅲ①	渋谷 周二	202	4153	情報リテラシーⅡ②	廣瀬 美紀	204	5152	英語Ⅳ（スピーキング）③	スチュワート	202
		1153	英語Ⅳ（スピーキング）⑦	香井マリ	206	2153	情報リテラシーⅡ④	廣瀬 美紀	204	4154	情報リテラシーⅡ⑤	山本 直美	205	5153	中国語Ⅳ③	渋谷 周二	201
		1154	英語Ⅲ（リーディング）③	佐藤 則子	201	2154	情報リテラシーⅡ⑦	武市 義弘	205					5154	情報リテラシーⅡ①	広瀬 龍二	204
	2年以上	1155	高度素社会と地域デザイン＜応用Ⅰ＞	古山 隆	103	2155	地方自治論＜応用Ⅰ＞	和田 明子	103	3152	ビジネス中国語	福山 泰男	209	4151	英語Ⅵ（リーディング）⑤	佐藤 則子	203
						2156	地域福祉の理論と方法Ⅱ②＜基本＞	照井 孫久	105	3153	権利保護と成年後見制度＜応用Ⅰ＞	庄司 敬明	102	4155	公益政策＜応用Ⅰ＞	オムニバス	103
						2157	人間行動と安全＜応用Ⅰ＞	神田 直弥	104	3154	情報交換概論	西村まどか	102	4156	持続的農業概論＜基本＞	渋谷主太郎	105
	3年以上	1156	※社会科学・地歴科指導法Ⅱ	廣瀬 和久	211					3155	公益概論Ⅱ（2007～8）	オムニバス	301	4157	情報処理特講Ⅱb	神田 直弥	209
		1157	地域福祉演習Ⅱ＜応用Ⅱ＞	武田・澤道	207									5155	資源リサイクル論＜応用Ⅰ＞	古山 隆	105
		1158	地域福祉演習Ⅳ＜応用Ⅱ＞	武田・澤道	207									5156	政策マネジメントと公益＜基本＞	佐野 治	103
		1159	情報処理特講Ⅱa	西村まどか	102									5157	相対援助の理論と方法Ⅲ＜応用Ⅰ＞	佐野 治	104
2時間 10:40～ 12:10	1年以上	1251	英語Ⅳ（スピーキング）②	ローウェン	202	2251	英語Ⅲ（リーディング）⑥	松田 憲	212	3251	英語Ⅲ（リーディング）⑦	松田 憲	212	4251	情報リテラシーⅡ⑥	廣瀬 美紀	204
		1252	英語Ⅳ（スピーキング）⑥	香井マリ	206	2252	中国語Ⅲ②	奥 衛雄	208	3252	森林の保全と共生	泉 尚浩	301	4252	情報リテラシーⅡ⑩	山本 直美	205
		1253	情報リテラシーⅡ⑨	竹村 孝	205	2253	情報リテラシーⅡ③	武市 義弘	205					4253	中国語Ⅳ②	佐藤 則子	203
						2254	情報リテラシーⅡ⑤	神田 直弥	204					4254	英語Ⅲ（リーディング）①	佐藤 則子	205
	2年以上	1254	英語Ⅵ（リスニング）⑤	スチュワート	203	2256	英語Ⅵ（リスニング）②	本間 ひろみ	203	3253	英語Ⅵ（リスニング）⑦	栗本 昌	203	4255	英語Ⅵ（リーディング）④	松田 憲	212
		1255	就労支援サービス＜応用Ⅰ＞	澤道みさ子	104	2257	中国語Ⅲ③	福山 泰男	209	3254	保健医療サービス＜応用Ⅰ＞	岡部 誠也	201	4256	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ＜基本＞	森 幸太	206
		1256	環境情報解析＜基本＞	山本 裕樹	103	2258	基礎プログラミングⅡA（①③）	西村まどか	102	3255	中国語Ⅲ②	福山 泰男	209	4257	基礎プログラミングⅡD（⑤⑥）	神田 直弥	101
	3年以上	1257	中国語Ⅲ③	奥 衛雄	208	2259	経済史＜応用Ⅰ＞	三島 恵之	103					4258	※生徒・進路指導論	廣瀬和彦子	209
		1258	英語Ⅵ（リーディング）⑥	佐藤 則子	201									4259	特別プログラムはエネルギー・経済・政策論b	山家 公雄	207
		1259	ニュージーランドの政治・行政＜応用Ⅱ＞	和田 明子	105	2260	相対援助実習指導Ⅱ①＜応用Ⅱ＞	鎌田 剛	207	3256	医療福祉論（2007～8）	岡部 誠也	201	4260	家族と地域生活＜応用Ⅱ＞	伊藤真知子	104
		1260	英語Ⅵ（リスニング）④（2009）	スチュワート	203	2261	相対援助実習指導Ⅱ②＜応用Ⅱ＞	小関 久恵	206					4261	哲学と倫理	竹原 幸太	211
3時間 13:00～ 14:30	1年以上	1351	情報と社会	神田 直弥	301	2351	社会学	渡辺 曉雄	105	3351	人文地理学b	松山 薫	105	4351	日本史b	三原 啓子	105
		1352	現代社会と福祉Ⅱ	照井 孫久	104	2352	アジアを知らう	渡辺 曉雄	105	3352	TOEIC（中級）	栗本 昌	203	4352	文学を楽しむ	奥 衛雄	104
		1353	地球環境科学	市田 光	105					3353	韓国語2	佐々木理美	201	4353	Intensive ReadingⅡ	松田 憲	212
		1354	※教職入門	小野 孝	203					3354	ロシア語2	金子真理子	206				
	2年以上	1355	中国語Ⅲ③	奥 衛雄	208	2353	英語Ⅵ（リスニング）①	本間 ひろみ	203	3355	英語Ⅵ（リスニング）④	フェック 207	207	4354	英語Ⅵ（リーディング）③	佐藤 則子	203
		1356	高齢社会と健康＜基本＞	平松 綾	103	2354	英語Ⅵ（リーディング）⑦	松田 憲	212	3356	中国語Ⅲ①	渋谷 周二	208	4356	中国語Ⅲ①	渋谷 周二	202
						2355	基礎プログラミングⅡB（②④⑩）	西村まどか	102	3357	トップセミナー（隔週）	渡辺・高橋	103	4357	情報処理演習b	山本 直美	205
	3年以上	1357	社会福祉原論Ⅱ（2007～8）	照井 孫久	104	2356	福祉行政と福祉計画＜基本＞	武田真理子	104					4358	情報とコンピューティング	山家 公雄	207
		1358	実用英語（SPI）	佐藤 則子	201	2357	中国語Ⅲ②	福山 泰男	209					4359	※日本地理	松山 薫	209
						2358	金融論＜応用Ⅱ＞	水田 健輔	103	3358	相対援助演習Ⅲ＜応用Ⅱ＞	小関 久恵	211	4360	公益法人論＜応用Ⅱ＞	出井 徳夫	201
4時間 14:40～ 16:10	1年以上	1451	社会保障Ⅱ	岡部 公一	301	2451	基礎の自然科学（生物）	平松 綾	105	3451	会計学基礎論	原田 清美	104	4451	法と現代社会	内藤 信	103
		1452	自然地理学b	香井マリ	206	2452	心理学	佐野 治	301					5451	世界の政治経済	杉山 肇	301
		1453	English PresentationⅡ											5452	Essay Writing	香井マリ	206
	2年以上	1454	経営財務論＜応用Ⅰ＞	水田 健輔	103	2453	地域共創と公益＜基本＞	伊藤 真樹	105	3452	中国語検定対策b	渋谷 周二	208	4452	相対援助の理論と方法Ⅳ＜応用Ⅰ＞	竹原 幸太	211
		1455	まちなか未来論＜応用Ⅰ＞	進井 孝	104	2454	相対援助演習Ⅰ①＜応用Ⅰ＞	小関 久恵	206	3453	韓国語4	佐々木理美	201	4453	環境サイエンスと公益＜基本＞	オムニバス	104
		1456	社会情報処理	広瀬 龍二	102	2455	情報処理特講Ⅱc	広瀬 龍二	202	3454	ロシア語4	金子真理子	206	4454	国際ビジネス論＜応用Ⅰ＞	森 彰夫	301
	3年以上	1457	※特別活動指導論	杉原 浩郎	210	2456	統計学＜基本＞	市田 光	103	3455	トップセミナー（隔週）	渡辺・高橋	103				
		1458	社会保障論Ⅱ（2007～8）	岡部 公一	301					3456	※体育と健康（通年）	山岸 文孝	103				
										3457	簿記論Ⅱ（2007～8）	原田 清美	104	4455	公共経営論＜応用Ⅱ＞	出井 徳夫	201
										3458	ロシア語Ⅴ（2008～9）	金子真理子	206	4456	社会福祉援助技術Ⅳ（2007～8）	竹原 幸太	211
5時間 16:20～ 17:50	1年以上	1551	基礎の自然科学（化学）	市田 光	実験室	2551	数学的考え方	西村まどか	102					4457	相対援助演習Ⅴ	照井 孫久	210
						2552	少子高齢社会の福祉課題	オムニバス	105					4458	社会福祉援助技術演習Ⅴ（2007）	照井 孫久	210
		1552	共創まちづくり演習＜応用Ⅰ＞	進井 孝	103	2553	観光デザイン論＜応用Ⅰ＞	渡辺 曉雄	103					4551	相対援助の基礎と専門職Ⅱ	佐野 治	104
	2年以上					2554	キャリアと人生	オムニバス	104					4552	公共経済学＜応用Ⅰ＞	栗本 肇	103
						2555	相対援助演習Ⅰ②＜応用Ⅰ＞	小関 久恵	206					4553	共生社会と人権＜基本＞	三原 啓子	105
	3年以上																
6時間 18:00～ 19:30	1年以上																
	2年以上																
	3年以上																

〇1年生は上段のみ対象。※印は教職課程。アンダーラインがあるものは、再履修者が対象。○(xxxx)内の数字は、入学年度

注)1年生の情報クラス：英語①～⑦⇒①～⑦クラス 中国語①～③⇒③～③クラス

注)2年生の情報クラス(A～Dクラス)：英語①・③⇒A 英語②・④・中国語③⇒Bクラス 英語⑦・中国語①・②⇒Cクラス 英語⑤・⑥⇒Dクラス

(3) 公益学研究科履修科目

2013年度 大学院 時間割

時 限	月				火				水				木				金				土			
	期	科目名	教員名	教室	期	科目名	教員名	教室	期	科目名	教員名	教室	期	科目名	教員名	教室	期	科目名	教員名	教室	期	科目名	教員名	教室
1 時限 9:00 ～ 10:30	前	演習Ⅱ	和田 明子	酒田	前				前				前				前				前	公益学研究特殊講義g(地域福祉)	照井 孫久	22
	後	演習Ⅱ	和田 明子	酒田	後				後				後	演習Ⅰ	呉 尚浩	酒田	後				後			
2 時限 10:40 ～ 12:10	前				前				前	情報処理論 演習Ⅰ	広瀬 雄二 和田 明子	酒田 204 酒田	前				前				前	統計学 公益学研究特殊講義g(地域福祉)	山本 裕樹 照井 孫久	21 22
	後				後				後	演習Ⅰ	和田 明子	酒田	後	地域活性化特論b (中山間離島地域) 政策研究特論c (New Public Management)	オムニバス 和田 明子	酒田	後				後	公益社会デザイン※	オムニバス	ホール
3 時限 13:00 ～ 14:30	前				前	演習Ⅰ	呉 尚浩	21	前				前	演習Ⅱ	水田 健輔	酒田	前	公共経営論 公益学研究特殊講義f (地域活性化)	出井 信夫 オムニバス	22 21	前	論文作成法※	オムニバス	21
	後				後				後				後	演習Ⅱ	水田 健輔	酒田	後				後	公益社会デザイン※	オムニバス	ホール
4 時限 14:40 ～ 16:10	前	会計学【自由科目】	水田 健輔	酒田	前				前				前	演習Ⅰ	阿部 公一	酒田	前	政策研究特論a (地方財政論)	出井 信夫	22	前	論文作成法※	オムニバス	21
	後				後				後				後	演習Ⅰ	阿部 公一	酒田 206	後				後	公益社会デザイン※	オムニバス	ホール
5 時限 16:20 ～ 17:50	前	経済学【自由科目】 ※学部科目名「基礎経済学」	尾身 祐介	酒田	前				前				前				前	政策研究特論d (社会保障・公的年金政策)	阿部 公一	22	前			
	後				後				後				後	障害者福祉論 演習Ⅰ	薄邊 みさ子 神田 直弥	22 酒田	後	公共政策論Ⅱ	阿部 公一	酒田 211	後			
6 時限 18:00 ～ 19:30	前	地域デザイン論 公共政策論Ⅰ 地域福祉特論a (地域福祉ネットワーク論)	高谷 時彦 桑名 謹三 照井 孫久	11 酒田 21	前	会計論 NPO・非営利組織論 演習Ⅰ	水田 健輔 洪川 智明 高谷 時彦	22 21 11	前	演習Ⅰ 演習Ⅰ	渡辺 暁雄 尾身 祐介	22 21	前	福祉政策論 演習Ⅰ	武田 真理子 神田 直弥	22 21	前	基幹統計調査論Ⅰ※ 加工統計基礎論※ 演習Ⅱ 研究指導Ⅱ	桑原 廣美 高橋 睦春 洪川 智明 出井 信夫	21 21 11 22	前			
	後	自治体政策法務論 演習Ⅱ	内藤 悟 照井 孫久	22 21	後	公益ビジネス特論a (社会起業家論) 演習Ⅰ	洪川 智明 高谷 時彦	21 11	後	ソーシャルキャピタル論 演習Ⅰ	オムニバス 渡辺 暁雄	22 21	後	公益組織体会計論 演習Ⅱ	水田 健輔 渡辺 暁雄	21 11	後	基幹統計調査論Ⅱ※ 演習Ⅱ 研究指導Ⅱ	桑原 廣美 洪川 智明 出井 信夫	21 11 22	後			
7 時限 19:40 ～ 21:10	前	演習Ⅰ 演習Ⅱ	高谷 時彦 照井 孫久	11 21	前	地域活性化特論d (地域プロジェクト論)	オムニバス	22	前	公共性の社会学	伊藤・渡辺	22	前	演習Ⅰ 演習Ⅱ	武田 真理子 渡辺 暁雄	22 酒田	前	基幹統計調査論Ⅰ※ 加工統計基礎論※ 研究指導Ⅰ	桑原 廣美 高橋 睦春 洪川 智明	21 21 11	前			
	後	地域福祉特論b (福祉サービス評価論) 演習Ⅰ	照井 孫久 高谷 時彦	21 11	後	地域活性化特論a(都市中心市街地) 演習Ⅰ	高谷・温井 武田 真理子	21 11	後	社会調査論	渡辺 暁雄	21	後				後	基幹統計調査論Ⅱ※ 研究指導Ⅰ	桑原 廣美 洪川 智明	21 11	後			

2013年度大学院時間割（期日指定型講義・集中講義）

1 前期開講科目

区分	科目名	教員名	開講日時
期日指定	論文作成法	遠山 茂樹 和田 明子 松田 憲 松山 薫	4/13・4/27・5/11・5/25・6/8・6/22・7/6・7/20 各土曜3～4時限（7/20は3時限のみ）
期日指定	基幹統計調査論Ⅰ	桑原 廣美	4/19・5/10・5/24・6/7・6/21・7/5・7/19・8/2 各金曜6～7時限（8/2は6時限のみ）
期日指定	加工統計基礎論	高橋 睦春	4/12・4/26・5/17・5/31・6/14・6/28・7/12・7/26 各金曜6～7時限（7/26は6時限のみ）
期日指定	特別セミナー（公益法人論）	出井 信夫	6/29(土)・30(日)・7/13(土)・15(月、祝) 10:30～17:40 ※6/29は10:30～16:00

2 夏季集中開講科目

区分	科目名	教員名	開講日時
夏季集中	企業と社会論	中谷 常二	8/9(金)・8/10(土)・8/12(月) 1時限～5時限

3 後期開講科目

区分	科目名	教員名	開講日時
期日指定	公益社会デザイン	オムニバス	9/21・9/28・10/5・10/12・10/19 各土曜2～4時限
期日指定	基幹統計調査論Ⅱ	桑原 廣美	9/27・10/4・10/11・11/1・11/22・12/6・12/20・1/10 各金曜6～7時限
期日指定	特別セミナー（自治体経営実務）	出井 信夫 水田 健輔	10/26・10/27・11/2・11/3 ※昼休み40分 10:00～17:00（10/26は10:00～15:20）

(4) インターンシップ実施状況

No.	業種	企業・団体名	実習生人数
1	製造業	鶴岡市立荘内病院	1
2		酒田共同火力発電株式会社	1
3		酒田天然瓦斯株式会社	2
4		株式会社大商金山牧場	2
5		日東ベスト株式会社	1
6		前田製管株式会社	1
7		丸松物産株式会社山形工場	1
8		山形パナソニック株式会社	1
9		株式会社山本組	1
10	福祉	一関デイサービスセンター	1
11	金融業	株式会社荘内銀行	2
12		鶴岡信用金庫	2
13	サービス業	温海町森林組合	1
14		株式会社エフエム山形	2
15		荘内電気設備株式会社	1
16		株式会社近畿日本ツーリスト東北酒田営業所	1
17		株式会社コミュニティ新聞社	1
18		一般社団法人 酒田観光物産協会	2
19		出羽商工会	1
20		パレスグランデール	1
21		株式会社山形グランドホテル	2
22		山形県商工会連合会	1
23		株式会社 山形テレビ	1
24	小売業	株式会社八文字屋 みずほ八文字屋	1
25	官公庁	小国町役場	1
26		女川町役場	1
27		上山市役所	1
28		国土交通省東北地方整備局酒田河川国道事務所	2
29		寒河江市	1
30		酒田市	4
31		庄内町	2
32		新庄市役所	1
33		鶴岡市役所	2
34		天童市役所	1
35		南陽市役所	1
36		村山市役所	1
37		盛岡市役所	1
38		山形県立図書館	1
39		山形県置賜総合支庁	1
40		山形県庄内総合支庁	1
41		山形県最上総合支庁	1

No.	業種	企業・団体名	実習生人数
42		山形県村山総合支庁	1
43		山形市役所	1
44		米沢市役所	2
45		株式会社東洋開発	2
46		株式会社永田プロダクツ	2
47	社長 インター ンシップ	秋山鉄工株式会社	1
48		湯野浜温泉 亀や	1
49		株式会社マリーン5清水屋	1
50		NPO法人元気王国	1
51		株式会社東洋開発	1
52		株式会社大商金山牧場	1
53		山形県庄内総合支庁	1
54		株式会社ホテルリッチ酒田	1
55		酒田第一タクシー株式会社	1
56		株式会社 ブルー	2
		合計	73

(5) オフィスアワーの実施状況

2013年度前期オフィスアワー一覧

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室
2 時限 10:40~12:10							松山 薫	C-3	和田 明子	B-2
3 時限 13:00~14:30	平松 緑 水田 健輔 神田 直弥 西村 まどか 森 彰夫	B-5 C-4 F-4 B-4 C-5	伊藤真知子 遠山 茂樹 鎌田 剛 温井 亨 菅井 マリー	F-3 E-5 E-4 G-3 G-4			呉 尚浩 内藤 悟 松田 憲	A-2 C-2 I-4		
4 時限 14:40~16:10	尾身 祐介 呉 衛峰 小関 久恵 桑名 謹三	G-1 F-2 H-3 C-1	古山 隆 山本 裕樹	E-1 I-5			出井 信夫 市田 光	A-5 E-6	広瀬 雄二	B-3
5 時限 16:20~17:50	阿部 公一	H-5	武田真理子 照井 孫久 竹原 幸太	E-2 F-1 H-4			澤邊みさ子	A-4	三原 容子 杉山 肇	D-2 D-5
6 時限 18:00~19:30			三島 憲之	I-3			國眼真理子 渡辺 暁雄	G-5 H-1		

2013年度後期オフィスアワー日程

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		
	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	
2 時限 10:40~12:10	西村 まどか 平松 緑	B-4 B-5			三島 憲之	I-3					2 時限
3 時限 13:00~14:30	和田 明子	B-2	伊藤眞知子 遠山 茂樹 鎌田 剛 温井 亨	F-3 E-5 E-4 G-3			神田 直弥 桑名 謹三 森 彰夫	F-4 C-1 C-5			3 時限
4 時限 14:40~16:10	呉 衛峰 小関 久恵 松山 薫	F-2 H-3 C-2	古山 隆 山本 裕樹 菅井マリー 武田真理子 照井 孫久 水田 健輔 竹原 幸太	E-1 I-5 G-4 E-2 F-1 C-4 H-4			松田 憲 呉 尚浩 三原 容子	I-4 A-2 D-2 D-2	澤邊みさ子	A-4	4 時限
5 時限 16:20~17:50	阿部 公一 内藤 悟	H-5 C-2	広瀬 雄二	B-3			渋谷 智明 出井 信夫	I-2 A-5			5 時限
6 時限 18:00~19:30							國眼眞理子 杉山 肇 渡辺 暁雄	G-5 D-5 H-1			6 時限

(6) 研究業績調書

職位 氏 名	教授 出井 信夫				
1 専門分野、研究テーマ	第3セクター、公民連携、地方行財政				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) 「移行期間終了後における公益 事業の課題と展望」(査読有)	単著	2013年9月1 日号～ 2013年12月 15日号	『公益・一般法人』 全国公益法人協会	5回連載 11-14頁 42-58頁 38-52頁 48-62頁 47-54頁	I 指定管理者制度導入後 の自治体出捐公益法人の 概況～(中略)～XⅢ 公 益ビジネスの公益性と収 益性、XIV「共助社会」「公 益社会」実現のデザイン
「自治体の人事に関する研究― 全国自治体の実態調査結果を中 心に」(査読有)	共著	2013年11月 ～2014年1月 第89巻11号 ～第90巻1号	『自治研究』第一法 規	3回連載 32-57頁 53-69頁 44-63頁	「自治体の人事に関する 研究―全国自治体の実態 調査結果を中心に」と題 し、実態調査の解析論文。
4 研究ノート (名称)					
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称) 「日本の第3セクター・公民連 携の現状と課題―自治体出資法 人を中心に―」	単著	2013年9月 13日 韓国建国大学	「国際交流学術研究 会」第3セクターと 韓国建国大学の共催	1-13頁	「日本の第3セクター・公 民連携の現状と課題」と題 し、第3セクター、NPO などについて論説。
8 その他 ① 専門誌 「使える自治体の財政分析」	単著	2013年4月号 ～2014年3 月号	『公明』公明党機関 紙委員会	各回2頁	地方財政に関する事項に ついて、各回2頁で図表と ポイント解説。長期連載。 2014年3月号で50回。
「第三者機関設け経営評価を」	単著	平成25年8 月23日号	「コミュニティし んぶん」	3面掲載 評論	自治体出資法人に対する 経営評価について第三者 機関設ける提言。
② 研究調査報告書 その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務(委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	山形県公益認定等審議会 新潟県出資法人経営評価委員会 上越市指定管理者選定委員会 新潟県立武道館基本構想検討会議	H25年4月～H26年3月 H25年4月～H26年3月 H25年4月～H26年3月 H25年4月～H25年12月	委員長代理 委員長 委員長 委員
② その他		H 年 月～H 年 月	

職位 氏 名	教授 平松 緑				
1 専門分野、研究テーマ					
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『The study of herbal medicine effects on senescence accelerated mice 』	単 (46 章)	2013 年	Elsevier(発行所) The Senescence- Accelerated Mouse (SAM) Achievements and Future Direc- tion (本の題目)	523-536	老化促進モデルマウスと 漢方薬及び生薬の効果の 総説、並びにこれからの期 待
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) 最上紅花の花弁による老化促進 モデルマウスの記憶保持に關する 研究(査読無)	共	2014 年	東北公益文科大学 総合研究論集(第 25 号)	67-81	最上紅花の花弁は老化促 進モデルマウスの記憶保 持を延長することを認め た。 (平松緑, 高橋琴恵, 相磯 剛宏, 及川彰)
4 研究ノート (名称)					
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他 学術講演 ・紅花と健康について	単	2013 年 12 月 8 日	知の拠点庄内第 3 回 シンポジウム		最上紅花の機能性につい て講演した。

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務(委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	やまがた農産物安全・安 心取組認証第 1 次申請に 係る審査委員会 山形県庄内地域保健医 療協議会	～H28 年 3 月 H25 年 11 月～h27 年 3 月	副委員長 委員
② その他 学会役職	日本てんかん学会 日本神経化学会 日本脳科学会 日本酸化ストレス学会 老化促進モデルマウス 研究協議会 グアニジノ化合物研究	現在に至る 以下同じ	評議委員 評議委員 理事、評議委員 評議委員 評議委員 評議委員

依頼講演	会 日本ポリフェノール学 会		理事
	港南学区コミュニティ 振興会	H26 年 2 月 6 日	最上紅花の効能について講 演した。
	山形大学農学部おしゃ べりな畑	H26 年 1 月 14 日	最上紅花の若菜の普及につ いて講演をした。
	酒田市市街地コミュニ ティ振興会連絡協議会	H25 年 11 月 15 日	紅花の効能について講演を した。
身近な環境を守りしくみを考える —紅花を通じた私達の健康から			
庄内産最上紅花の若菜の取組につ いて			
身近な環境を守るしくみを考える (紅花を通じた私達の健康から)			
紅花と健康について	秋田県三種長観光協会	H25 年 11 月 21 日	同上

職位 氏 名	教授 國眼眞理子				
1 専門分野、研究テーマ	教育心理学、青年心理学、キャリア心理学				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
7 学会発表					
①「キャリア発達・教育に関する研究（XⅢ）—中学生の人生観および職業観—」	共著	2013	日本教育心理学会 第 55 回総会 発表論文集	p. 354	中学生の職場体験学習の事前学習の一環として、キャリア選択に影響を及ぼす「人生観」「職業観」をカードソート法により明らかにした。
②「キャリア発達・教育に関する研究（XⅣ）—長期にわたる実習経験が職業意識形成に与える影響—」	共著	2013	日本教育心理学会 第 55 回総会 発表論文集	p. 355	医療家資格取得の要件である長期にわたる実習が職業能力に対する意識や職業的同一性の形成にいかなる影響を与えるのかを検証した。
8 その他					
① 専門誌					
② 研究調査報告書 「平成 25 年度大学まちづくり政策形成事業 ～酒田市における家庭教育支援に関する調査研究～」報告書	共著	2014. 3		p. 5、6 p. 27 ～34 p. 68 ～72	調査研究の目的、調査研究に関わる活動 子育て支援に関するヒアリング調査およびその結果 次年度の調査研究に向けて
③ その他					
1)「赤ちゃんは語学の天才」	単著	平成 25 年 4 月 (2013) ～ 平成 25 年 3 月 (2014)	「私の街さかた」 酒田市広報誌コラム 『酒田っ子すくすく』	600 字/回	周囲の大人の丁寧な語りかけをヒントに赤ちゃんは自分の力で言葉を獲得する
2)「コミュニケーション力を育てる」					「ひとこと言い」を許容して いてはコミュニケーションの 意欲は育たない。あえて問い 直そう
3)「子育て応援団」					みんなで子育て。子どもは自 分の気持ちを実現してくれる 人が好き。母親とは限らない
4)「困った口癖」					おとなは、子どもが駄目なこ とをしているとき困ったこと をしているときに注目しが ち。いいときほど注目しよう
5)「人見知り」					人見知りは順調な発達のバロ メーター
6)「知らない人についていち やいけないう」					4,5 歳ごろは、ことばの表面 的な理解はできても、場面に 即してあるいはついていった

7)「情けは人のためならず」					ときその後どのようなことがあるのか想像する力は不足している。具体的に教えよう。
8)「親という『仕事』」					5, 6 歳児の親切行動の波及効果。親切にするとそれを見ていた子から親切を受け取る親という仕事には「匂」があること。子どもが愛されているという実感を持つためには、親が子どもの目線になって肌を合わせる経験が必要。それを与えることこそ親の「仕事」なのではないか。
9)「ハイタッチの効用」					子どもの行動を誘うとき、口頭で「～しなさい」よりも非言語的なハイタッチを活用しよう。
10)「3,4 歳のころの心の世界」					3, 4 歳ころの言葉の発達と心の世界
11)「お母さんへのご褒美」					お母さんにも自分ひとりの時間を。罪悪感を感じなくていい。
12)「手のひらというぬくもり」					やる気を育てるのは子どもが感じられるぬくもり。言葉よりも手のひらの効用

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務（委員／委員長等）
① 市町村の委員会			
1. 酒田市教育委員会	酒田市教育委員会	H25 年 11 月～現在	教育委員
2. 酒田っ子すくすく育成会議	酒田市	H25 年 4 月～現在	委員
3. 酒田市スクール・カウンセラー	酒田市教育委員会	H25 年 4 月～現在	スクールカウンセラー
4. 山形県産業教育審議会	山形県教育庁	H25 年 4 月～現在	委員
5. 酒田市立第 4 中学校	酒田市教育委員会	H25 年 4 月～11 月	学校評議員
②その他			
<学会関係>			
1. 日本キャリア教育学会		H22 年 11 月～現在	理事
<教育機関関係>			
1. 酒田市立看護専門学校	講義（「人間関係論」）	H25 年 4 月～9 月	非常勤講師
2. 酒田市立第一中学校	わいわい出前講座 ーキャリア教育ー	H25 年 5 月 24 日、31 日	講師
3. 酒田市立飛鳥中学校	わいわい出前講座 ーキャリア教育ー	H25 年 6 月 9 日 27 日	講師
4. 酒田市立鳥海八幡中学校	わいわい出前講座 ーキャリア教育ー	H25 年 11 月 26 日	講師
5. 酒田市立内郷小学校	P T A 研修会	H25 年 9 月 28 日	講師
6. 酒田市立宮野浦小学校	家庭教育セミナー	H25 年 9 月 27 日	講師
7. 山形県高等学校初任者研修	山形県教育センター （キャリア教育）	H25 年 10 月 16 日	講師
8. 酒田市立富士見小学校	構成的グループエンカウン ター実践支援	①H25 年 10 月 8 日、17 日 ②H26 年 1 月 30 日	助言者
9. 庄内町立余目第 2 小学校 P T A 研修会	庄内町立余目第 2 小学校	H25 年 12 月 14 日	講師
10. 山形県立酒田西高等学校	キャリア教育研修	H25 年 12 月 18 日	講師
11. 山形県立楯岡高等学校	キャリア教育研修	H26 年 2 月 19 日	講師
<教育委員会・教育センターなど>			
1. 酒田市不登校保護者会（年 3 回）	酒田市教育委員会	①H25 年 6 月 6 日 ②H25 年 10 月 3 日 ③H26 年 1 月 23 日	講師 講師
2. 幼保小指導者研修会	酒田市子育て支援課	H25 年 6 月 18 日	
3. 山形県庄内総合支庁	公益教育セミナー	H25 年 10 月 11 日	講師

＜その他の教育機関・施設＞			
1. 酒田市シルバー人材センター	傾聴講座	H25 年 7 月 26 日	講師
2. 酒田市シルバー人材センター	子育て支援ヘルパー講座	H25 年 11 月 20 日	講師
3. 山形県民シンポジウム in 庄内	山形大学	H25 年 11 月 30 日	パネリスト
4. 酒田市PTA連合会第 2 回母親委員会会議	酒田市PTA連合会	H25 年 12 月 3 日	講師
5. 酒田市健康福祉部健康福祉課	心の健康づくり教室	①H26 年 2 月 14 日 ②H26 年 2 月 15 日	講師
6. 第 62 回西村山地区学校保健大会	山形県村山教育事務所	H26 年 2 月 12 日	講師
＜看護・福祉関係＞			
1. 国立精神・神経センター 武蔵病院	リーダーシップ研修	①H25 年 5 月 20 日 ②H25 年 10 月 28 日	講師
2. 東京大学医学部付属病院	実習指導者研修	H25 年 7 月 29 日	講師
3. 国立国際医療センター 国府台病院	リーダーシップ研修	H25 年 9 月 30 日	講師

職位 氏 名	教授 伊藤真知子				
1 専門分野、研究テーマ	社会学、女性学				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) (名称)					
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 「心の傷を癒すということ」 『東北公益文科大学総合研究論集』第 24 号	単	平成 25 年 9 月	東北公益文科大学	i - ii	東日本大震災から 2 年、被災経験による心の傷つきのケアは専門家だけでなく、だれもが「聴く」存在になりできることであることを論じた。
② 研究調査報告書 『平成 25 年度大学まちづくり政策形成事業～酒田市における家庭教育支援に関する調査研究～』	共	平成 26 年 3 月	東北公益文科大学	8-13, 66	現代の家庭教育・家族について、社会学の観点から家庭教育の意味の変容、家族と子育てをめぐる現状について整理した。
③ その他 「仕事と家庭あなたは充実していますか?」『広報しょうない』	単	平成 26 年 3 月 5 日	庄内町	17	ワーク・ライフ・バランスについて、生活時間調査のデータを用いて解説した。
『平成 22 年度～平成 25 年度庄内地域子育て応援協議会報告書』	共	平成 26 年 3 月	庄内地域子育て応援協議会	はじめに、4-5	庄内地域の子育て情報を一元的に提供する web サイト「TOMONI」の立ち上げ運営してきた協議会のあゆみとその意義を概説した。

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	山形県総合政策審議会 山形県男女共同参画審議会 山形県高齢者虐待防止県民会議 酒田市男女共同参画推進後期計画に係るアドバイザー 庄内町男女共同参画社会推進アドバイザー 庄内町情報発信研究所	H25 年 4 月～H27 年 3 月 H24 年 12 月～H26 年 10 月 H26 年 1 月～H28 年 12 月 H25 年 4 月～H26 年 3 月 H25 年 4 月～H26 年 3 月 H25 年 4 月～H26 年 3 月	委員 会長 副会長 アドバイザー アドバイザー 特別研究員
② その他 (委員等)	山形労働局 山形地方労働審議会	H25 年 4 月～H27 年 3 月 H25 年 10 月～H27 年 9 月	労働紛争担当参与 会長

〈講演等〉	山形地方労働審議会労働災害防止部会 宇都宮大学地（知）の拠点整備事業外部評価 会議 酒田市立酒田看護専門学校	H25 年 10 月～H27 年 9 月 H26 年 2 月～H28 年 3 月	委員 外部評価委員
	特別非営利活動法人あらた 社会福祉法人光風会 生涯学習施設「里仁館」 生涯学習施設「里仁館」運営委員会 みやぎ・やまがた女性交流機構 庄内地域子育て応援協議会 庄内こどもプロジェクト明日のたね 第 63 次教育研究山形県集会 14 分科会	H25 年 4 月～H25 年 9 月 H25 年 6 月～H27 年 5 月 H24 年 7 月～H26 年 7 月 H24 年 4 月～H26 年 3 月 H24 年 4 月～H26 年 3 月 H21 年 8 月～ H22 年 7 月～ H25 年 4 月～ H25 年 7 月 15 日～H25 年 11 月 9 日	非常勤講師「家族関 係論」 理事 理事 常任理事 委員長 理事 会長 代表 研究協力者
	庄内町「椿ぜみなーる」第 1 回	H25 年 6 月 8 日	講師
	第 67 回山形県教職員組合女性部定期大会講演	H25 年 6 月 22 日	講師
	平成 25 年度岩手県立水沢高等学校第 1 回 SSH 特別講義	H25 年 6 月 24 日	講師
	ボランティア「いほほ笑みの会」発会記念講演	H25 年 6 月 28 日	講師
	庄内地域子育て応援協議会「再就職準備講座」	H25 年 6 月 19 日、7 月 19 日、9 月 18 日	講師
	平成 25 年度山形県老人保健施設大会講演	H 25 年 9 月 6 日	講師
	酒田市市民大学講座	H25 年 9 月 11 日	講師
	連合山形「2013 山形県男女共生集会」	H25 年 10 月 21 日	講師
	酒田市市民大学講座出前講座	H25 年 11 月 12 日	講師
	酒田市シルバー人材センター「子育て支援ヘル パー講習」	H25 年 11 月 22 日	講師
	新庄市「活き活きモガジョ養成講座」	H25 年 11 月 23 日	講師
	庄内町「椿ぜみなーる」第 7 回	H25 年 12 月 7 日	講師
	山形県庄内発！いのちとところを考えるつどい	H26 年 3 月 1 日	ファシリテーター
	連合山形酒田飽海地域協議会「労働講座」	H26 年 3 月 14 日	講師

職位 氏 名	特任教授 高谷時彦				
1 専門分野、研究テーマ	建築・都市デザイン				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※（査読付論文の区別） 日本建築学会作品選奨受賞 「鶴岡まちなかキネマ」		2013. 8	日本建築学会 『建築雑誌 127』	pp	2013 年度の日本建築学会 作品選奨受賞作品として 建築雑誌に掲載された。
4 研究ノート 「まちを元気にする活動拠 点『鶴岡まちなかキネマ』」	単	2013. 9	日本建築学会 『建築雑誌 128』	pp	まちなかキネマについて、 地域活性化の観点からそ の意義や可能性を論述し た。
5 資（史）料 （名称）					
6 翻訳 （名称）					
7 学会発表 「鶴岡まちなかキネマ」	単	2013. 9	日本建築学会大会 （札幌）		日本建築学会作品選奨受 賞作品としてパネル展示
8 その他 ① 専門誌 「鞘堂建築を逆のプロセス でつくる」 「歴史的文脈を生かした地 域風景の再生」 ② 研究調査報告書 ③講演、レクチャー、対談 「和洋折衷住宅を巡って」 「まちなかキネマの意義」 「鶴岡での歴史的文脈を生 かした風景再生」 「鶴岡の建築」 「まちづくりと福祉施設」 「愉しきかな 1930 年代」 「歴史的建造物を活用した まちづくり」	単 単	2013. 4 2013. 6 2013. 8 2013. 8 2013. 11 2013. 11 2013. 12 2014. 2 2014. 3	彰国社 『ディテール 196』 都市計画協会 『新都市 No6, 167』 山王まちや再生 市民ワークショップ 東大小林真理子ゼミ 立教大学ゲストスピー ーカー 土蔵サロニールナ 社会福祉法人一幸会 内川学5基調講演 酒田ローズの会	Pp83-85 pp	全国的に注目されている、 大学、市民、行政が協働す る鶴岡のまちづくり活動 を地域風景の再生という 視点で報告した。

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務（委員／委員長等）
① 県・市町村の 委員会	山形県都市計画審議会 鶴岡市住生活基本計画委員会 鶴岡市つるおか住宅選定委員会 鶴岡市総合計画社会基盤委員会 鶴岡市創造文化都市食文化委員会 鶴岡市歴史的風致維持向上計画協議会 鶴岡市景観審議会 酒田市重要文化的景観検討委員会	2013 年度 2013 年度 2013 年度 2013 年度 2013 年度 2013 年度 2013 年度 2013 年度	会長 委員長 委員長 座長 委員 委員 委員 委員

② その他	府中建築文化フォーラム地域デザイン学校	2013 年度	幹事
	鶴岡市商店街活性化シンポジウム	2013.3	モデレーター
	鶴岡市資源活用の家づくりシンポジウム	2014.3	モデレーター

職位 氏 名	遠山茂樹				
1 専門分野、研究テーマ	イギリス中世史、中世イングランドにおけるフォレスト				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 世界遺産と社会科教育－世界 遺産の教材開発に向けて－ (査読なし)	共著	平成 25 年 9 月	『東北公益文科大学総合研究論集』24 号	13 ～ 80 頁	世界遺産を素材とした社会科の授業・教材の開発をめざし、その基礎的作業をおこなった。小川寛由氏との共著。
4 研究ノート (名称)					
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務(委員／委員長等)
① 県・市町村の委員会	酒田市景観審議会 酒田市美術館理事 酒田市図書館協議会委員 鶴岡中央高等学校評議員	H25 年 4 月～H27 年 3 月 H25 年 4 月～H27 年 3 月 H25 年 4 月～H27 年 3 月 H25 年 4 月～H27 年 3 月	会長 理事 委員 評議員
② その他	NHK 文化センター(庄内 教室) 講師	H25 年 7 月～H27 年 9 月	講師

職位 氏 名	山家公雄				
1 専門分野、研究テーマ	エネルギー				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『再生可能エネルギーの真 実』	単著	2013 年	エネルギーフォーラ ム	375 頁	再生可能エネルギーを網 羅的に解説
3 学術論文 ※（査読付論文の区別） 『社会・環境変化と再生可能エ ネルギーおよびエネルギーシス テムへの影響』（査読有）	単著	2013/9	国際交通安全学会	9 頁	エネルギー環境の変化とモ ビリティ等に及ぼす影響
4 研究ノート （名称）					
5 資（史）料 （名称）					
6 翻訳 （名称）					
7 学会発表 （名称）					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他 *日経 BP オンラインに連載 「エネルギー世界の新潮流」	単著	2014～2015 年 度	日経ビジネス	7 頁/回 程度	13 年度は 13 回連載

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務（委員／委員長等）
① 県・市町村の委員会	*山形県総合政策審議会	2013～2014 年度	委員
② その他	*食料・農業・農村政策審議会 企画部会地球環境小委員会 *地球温暖化防止とサンゴ礁 保全に関する国際会議（環境 省・沖縄県主催）	2011 年度～2014 年度 2013/6	委員 パネリスト

職位 氏 名	教授 森 彰夫				
1 専門分野、研究テーマ	国際関係論、国際協力論、多文化共生論				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『オルタナティブ国際関係論－ 国際機構と国際協力の改革へ向 けて－』	単著	平成 23 年 11 月	彩流社	総 頁 数 229	第 1 章 国際関係の理論、 第 2 章 安全保障、第 3 章 軍備管理・軍縮・不拡散の 諸課題、第 4 章 地域紛 争、第 5 章 人権・人道の 諸問題、第 6 章 国際通貨 金融、第 7 章 世界金融経 済危機、第 8 章 開発援 助、第 9 章 貧困国の重債 務問題、第 10 章 社会開 発、第 11 章 国際貿易の 現代的課題、第 12 章 地 域経済統合、第 13 章 地 球環境問題、第 14 章 グ ローバリゼーション
3 学術論文 ※（査読付論 文の区別） 「地方自治体への国際協力から の教訓－地域課題の解決に向け て－」（査読なし）	単著	平成 26 年 2 月	『東北公益文科大学 総合研究論集』第 25 号	pp. 83-103.	国際協力の経験から、地方 の衰退や人口減少が著し い東北地方の地方自治体 への教訓をまとめた。公共 財がすべての人に供給さ れている社会が公益社会 であり、新自由主義的な市 場至上主義政策によって 格差拡大や一極集中がも たらされてきているなか で、対症的な対策とと もにヨーロッパ諸国のよ うに福祉国家への政策や システムの転換を求めて いく必要があることを論 じた。
4 研究ノート （名称）					
5 資（史）料 （名称）					
6 翻訳 （名称）					
7 学会発表 （名称）					
8 その他					
① 専門誌					
② 研究調査報告書					

③ その他 「山形県への国際協力からの教訓」	単	平成 25 年 6 月	東北公益文科大学イブニングカフェ		国際協力の経験から、地方の衰退や人口減少が著しい東北地方の地方自治体への教訓をまとめた。公共財がすべての人に供給されている社会が公益社会であり、新自由主義的な市場至上主義政策によって格差拡大や一極集中がもたらされてきているなかで、対症的な対策とともにヨーロッパ諸国のように福祉国家への政策やシステムの転換を求めていく必要があることを論じた。
---------------------------	---	-------------	------------------	--	--

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務（委員／委員長等）
① 県・市町村の委員会			
② その他	国連 UNHCR 協会 ヒューマン・シネマ・フェスティバル	平成 25 年 10 月	ゲストスピーカー

職位 氏 名	教授 水田健輔				
1 専門分野、研 究テーマ	公会計、高等教育財政、公的部門の経営				
	単・共 著の 別	発行又 は 発 表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『シリーズ大学 第3巻 大学とコス トー誰がどう支え るのか』	共著	2013 年 5 月	岩波書店	33 頁	著者 阪本崇、丸 山文裕、 <u>水田健輔</u> 、 小林雅之、上山隆 大、矢野眞和 執筆担当：第3章 大学財政の日本的 特質（P77～109） 概要：日本におけ る政府から大学へ の財源配分額の規 模や変動、配分方 法の内容、その社 会的、政策体背景 を、アメリカ、イ ギリス、オースト ラリア、フランス、 韓国の5カ国と比 較し、日本の特性 を明らかにした。
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) 1 教育財政の資金配 分の在り方に関する 考察ー教育段階を超 えた視点も考慮して ー（査読なし）	共著	2014 年 2 月	RIETI ディスカッション・ペーパー（独立行政法人経済産 業研究所），No.14-J-009, 97 頁 http://www.rieti.go.jp/jp/publications/dp/14j009.pdf	13 頁	分担執筆者 赤井 伸郎，妹尾渉，末 富芳， <u>水田健輔</u> 概要 独立行政法 人経済産業研究所 におけるプロジェ クト「財政的な統 一視点（財政制約 下の最適資源配 分）からみた教育 財政ガバナンス・ システムの構築」 （2011-13 年度・ 代表者：赤井伸郎） の最終成果論文。 水田は「第6章 ミ クロ的な視点から の効果分析 2：高 等教育に対する公 財政負担の在り 方」（P79-91）を担 当し、国立大学に

					対する政府からの研究資金配分とその成果に関する実証分析結果を発表している。
4 研究ノート なし					
5 資 (史) 料 なし					
6 翻訳 なし					
7 学会発表 1 財務情報から見た 国立大学法人の経 営・管理の推移	単独	2013 年 5 月 25 日	日本高等教育学会第 16 回大会 (会場：広島大学)		概要 2004 年に法人 化されて以降の国立 大学のマネジメント の変化を財務情報、 特に業務費及び一般 管理費の構成の変化 から検証した。特に 2009 年度までの第一 期中期目標期間で経 験したことが、2010 年度以降の第二期の マネジメントに活か されているかどうか に着目した。
2 地方自治体のキャ ッシュ・フロー計算書 からみた資金調達・投 資意思決定	単独	2013 年 8 月 23 日	国際公会計学会第 16 回全国大会 (会場：西南学院大学)		概要 地方自治体が 総務省方式改訂モデ ルで作成しているキ ャッシュ・フロー計 算書について、その 作成意義、収支の表 示区分を予算科目か ら変更する利点、企 業会計における同計 算書との異同、既存 の財政分析指標との 関係と新しい分析方 法の提案について発 表を行った。
8 その他 ① 専門誌 1 国立大学収支の現 状	単著	2013 年 11 月	IDE 現代の高等教育 (IDE 大学協会), 2013 年 11 月 号, 第 555 号	7 頁	概要 国立大学が 法人化された 2004 年度以降の収入構 成と支出構成、お よびその細目の増 減について考察を 加え、2009 年度ま での第一期中期目 標期間における極 端に慎重な支出統 制を明らかにし、

② 研究調査報告書 1 平成 25 年度版 国立大学の財務 ③ その他 1 招待講演『高等教育におけるガバナンス研究のフレームワーク』 2 討論者・福井文威発表『米国の高等教育における寄付の歴史』 3 討論者・須原三樹発表『公立大学の費用効率と法人化の影響』	単著	2013 年 3 月	独立行政法人国立大学財務・経営センター（施設費貸付・交付事業に係る各種調査の指導助言の一環）	全 体 頁：73 頁	2010 年度からの第二期中期目標期間におけるそうした姿勢の改善を指摘した。
	単独	2013 年 12 月 6-7 日	広島大学高等教育研究開発センター主催・第 41 回研究員集会		概要 高等教育機関のガバナンスを組織論の視点から研究する際の理論的背景と適用事例を発表。
	単独	2014 年 1 月 12 日	2013 年度日本高等教育学会・研究交流集会		概要 東京大学大学院・日本学術振興会特別研究員・福井文威氏の発表に対する討論者の責を果たした。
	単独	2013 年 5 月 18 日	日本地方財政学会第 21 回大会		概要 大阪大学大学院・日本学術振興会特別研究員・須原三樹氏の発表に対する討論者の責を果たした。

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務（委員／委員長等）
① 県・市町村の委員会 なし			
② その他	1 日本高等教育学会紀要編集委員会	H23 年 8 月～継続中	委員
	2 広島大学高等教育研究開発センター	H24 年 4 月～継続中	客員教授
	3 大学共同利用機関法人人間文化研究機構評価委員会	H23 年 6 月～継続中	委員
	4 社団法人日本私立大学連盟インテリジェンスセンター「広報・情報部門会議（調査）」	H23 年 9 月～継続中	委員

	5 文部科学省「国立大学等施設の総合的なマネジメントに関する検討会」	H25 年 10 月～継続中	委員
	6 酒田エフエム放送番組審議委員会	H25 年 10 月～継続中	委員
	7 経済産業研究所「財政的な統一視点からみた教育財政ガバナンス・システムの構築」プロジェクト	H23 年 11 月～H25 年 8 月	研究メンバー
	8 秋田県自治研修所「公会計研修」	H25 年 10 月 31 日～11 月 1 日	講師
	9 香川県自治研修所「公会計研修」	H25 年 11 月 28-29 日	講師

職位 氏 名	教授 温井 亨				
1 専門分野、研究テーマ	建築、まちづくり・むらづくり、風景計画				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書					
3 学術論文					
4 研究ノート					
5 資 (史) 料					
6 翻訳					
7 学会発表					
8 その他					
① 専門誌					
● 普通のまちが目指す観光まちづくり - 山形の事例から -	単著	2013 年 11 月	ランドスケープ研究 Vol. 77、No. 3 日本造園学会	2	東北支部の活動報告
● 支部活動をどう広げるか	単著	2014 年 1 月	ランドスケープ研究 Vol. 77、No. 4 日本造園学会	2	
② 研究調査報告書					
● 平成 25 年度酒田市大学まちづくり地域政策形成事業「酒田市升田区の地域活性化に関する調査研究」報告書	単著	2014 年 2 月	東北公益文科大学	53	受託研究の報告書
● 酒田市まちづくり人材連携強化事業報告書	単著	2014 年 3 月	東北公益文科大学	63	受託研究の報告書
● 里浜集落の住宅	単著	2014 年 5 月	平成 25 年度宮戸・野蒜地域の文化遺産の再生・活用検討事業報告書 (仮)	7	
③ その他					
● 庄内町地域活性化アドバイザー事業報告書	単著	2014 年 4 月	温井亨	?	庄内町地域活性化アドバイザーとしての活動報告
● 提言酒田の中心市街地再生 1～6	単著	2013 年 6 月～9 月	荘内日報		
● 現在の暮らしの中に生きるものとしての歴史 - 「絵図面の世界～江戸期の庄内・酒田～」に際して思うこと	単著	2014 年 2 月	酒田市図書館報「光丘」144 号		

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務(委員／委員長等)
① 県・市町村の委員会	● 庄内町中心市街地まちづくり協議会 ● 庄内町振興審議会 ● 酒田市中心市街地活性化協議会 ● 酒田市中心市街地まちづくり協議会 ● 宮城県文化財保護審議会松島部会 ● 東松島市特別名勝松島保存管理検討委員	H23 年 8 月～ H24 年 2 月～ H25 年 2 月～ H24 年 8 月～ H25 年 4 月～ H25 年 4 月～	アドバイザー 会長 委員 受託研究者 委員 委員

	会		
② その他	● 庄内町地域活性化アドバイザー ● 山形県立庄内総合高等学校学校評議員 ● 山形県立庄内総合高等学校学校関係者評価委員 ● 農水省東北農政局豊かなむらづくり審査会 ● 農水省東北農政局国営村山北部土地改良区事業 ● 日本造園学会 ● 日本造園学会東北支部 ● 日本造園学会ランドスケープ遺産イベントリー作成委員会 ● 日本造園学会企画委員会 ● 日本造園学会 CPD 推進委員会 ● 日本造園学会 CPD 企画委員会 ● 日本造園学会ランドスケープ研究校閲委員 ● 庄内銀行庄内価値開発研究会 ● 湊町さかた探検隊 ● 酒田市教育研究所「総合的な学習の時間」研究研修会 ● 酒田市民講座 ● 山形県まちづくりミーティング ● 山形県教育委員会庄内地域社会教育部会研修会 ● 連合飽海地協労働講座 ● 宮戸・野蒜地域の文化遺産の再生・活用指導委員会 ● 山形県茅葺き文化研究会	H22 年 5 月～H26 年 3 月 H22 年 5 月～ H22 年 5 月～ H21 年 5 月～H26 年 3 月 H25 年 5 月～7 月 H25 年 5 月～ H23 年 10 月～ H23 年 11 月～ H25 年 5 月～ H25 年 5 月～ H25 年 5 月～ H23 年 9 月～ H25 年 5 月～ H25 年 10 月 H25 年 9 月 H25 年 7 月 H25 年 11 月 H26 年 3 月 H25 年 4 月～ H26 年 2 月～	アドバイザー 評議員 学校関係者評価委員 委員 専門技術者(農村環境) 理事 支部長 委員 委員 委員 委員 校閲委員 メンバー 主宰者 講師 講師 報告者 講師 講師 委員 会長

職位 氏 名	教授 阿部公一				
1 専門分野、研究テーマ	社会保障論、公的年金論(公的年金政策史、年金教育)				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書					
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) (名称) 「1965 年改正以降の老齢年金における給付水準引上げの誘因—労使間の対立軸の視点から—」(査読無)	単著	平成 25 年 4 月	『日本年金学会誌』 第 32 号	A4 版 32 ～ 41 頁	老齢年金における 1965 年改正以降の大幅な給付改善は、高度経済成長を理由としているものの、明らかに呼び水的な誘因となる事柄があった。本稿では、厚生年金の政策形成過程における労使間の対立軸に視点を置くことにより、給付水準引上げの誘因を考察した。労使間対立、特に日本経営者団体連盟(日経連)の抵抗による修正積立方式の選択と、その後の日経連による方針転換が誘因となったことを実証した。
4 研究ノート (名称)					
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務(委員／委員長等)
① 県・市町村の委員会	酒田市公民館運営審議会	平成 27 年 5 月 31 日まで	副委員長
② その他		H 年 月～H 年 月	

職位 氏 名	教授 和田明子				
1 専門分野、研究テーマ	行政学				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) NPM=「小さな政府」か?～ニュージーランドと日本の「政府の大きさ」に関する一考察	単著 (査読付)	2013 年 6 月	日本ニュージーランド学会誌第 20 巻	pp. 3-41	
4 研究ノート カンタベリー地震の復興行政～2013 年の動向を中心に	単著 (査読無)	2014 年 3 月 (予定)	東北公益文科大学公益総合研究センター		
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 カンタベリー地震の復興プロセス～市民・行政の連携を中心に	共同発表	2013 年 10 月	日本ニュージーランド学会(東北公益文科大学ニュージーランド研究プロジェクトとの合同研究会)		共同発表者: 武田真理子
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務(委員/委員長等)
① 国・県・市町村の委員会	総務省東北管区行政評価局政策評価懇談会	H17 年 6 月～現在	委員
	総務省東北管区行政評価局山形行政評価事務所行政懇談会	H17 年 2 月～現在	委員
	山形県防災会議	H25 年 2 月～現在	委員
	山形県県立高校の将来の在り方検討委員会	H25 年 9 月～現在	委員
	山形県政府調達苦情検討委員会	H22 年 6 月～現在	委員
	山形県明るい選挙推進協議会	H20 年 5 月～現在	委員
	酒田市行財政集中改革	H14 年 7 月～現在	委員

	プラン推進委員会		
	酒田市教育委員会事務 の管理及び執行状況に 係る点検及び評価	H21 年 8 月～現在	外部評価者
	酒田市情報公開・個人情報 保護審査会	H22 年 1 月～H25 年 12 月	委員
	新庄市市民評価	H22 年 9 月～現在	行政評価アドバイザー
	庄内町行政改革推進委 員会	H17 年 12 月～現在	委員
	庄内町教育委員会事務 の管理及び進行状況に 係る点検及び評価	H23 年 4 月～現在	第二次外部評価者
	北上市政策評価委員会	H23 年 8 月～現在	委員
	(財) 土門拳記念館情報 公開審査会	H22 年 7 月～現在	委員
② その他		H 年 月～H 年 月	

職位 氏 名	教授 呉 尚浩				
1 専門分野、研究テーマ	公益学、環境社会学、地域づくり論、中山間・離島地域論、森林政策学				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書					
3 学術論文 ※(査読付論文の区別)					
4 研究ノート (名称)					
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他					
① 専門誌					
② 研究調査報告書 東北公益文科大学・奨励研究採 択「東日本大震災後の離島にお ける防災・減災体制のあり方に 関する研究—飛島における住民 主体の防災計画づくりに向けて —」	共(伊藤眞 知子、澤邊 みさ子、小 関久恵、岸 本誠司)	2013年6月～ 2014年3月			
③ 小冊子					
④ 署名記事 【報告】第6回三島交流会「飛 島・栗島・佐渡、三島の連携を 考える」	単	2014年11月	『とびしま未来協議 会通信』第8号(2013 年11月15日号、 pp. 1-3)		
・【報告】安心・安全と離島のく らし「飛島の防災・減災・備蓄 体制の見直しに向けて—宮城県 田代島・網地島調査から」	単	2014年3月	『とびしま未来協議 会通信』第9号(2014 年3月25日号、 pp. 1-3)		
④ 紹介記事 ・「未来をつくる、飛島の今。」 (豊かな食の都庄内 地域づく りの新レシピ10)		2013年7月	『Cradle』Jul.-Aug. 2013, pp. 32-35		
・「とび魚だしプロジェクト」(庄 内の『いま』を見つめる庄内ト ピック16)		2013年7月	『Cradle』Jul.-Aug. 2013, p. 25		
・「TPPやB級グルメ - 公益大4 年生・公開で卒業論文発表会」		2014年2月	荘内日報(2月19日)		

④ TV・ラジオ 信仰と人生（日本CGNTV・対談番組） FM たまん出演（伊是名島と飛島の交流について、沖縄県・糸満市）		2013年12月6日 2013年9月			
---	--	---------------------------	--	--	--

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務（委員／委員長等）
① 国の委員会			
② 県・市町村の委員会	出羽庄内公益の森づくりを考える会	H23年8月～	会長
	とびしま未来協議会	H23年5月～	事務局長
	山形海区漁業調整委員会	H24年8月～H28年8月	委員
	山形県海岸漂着物対策推進協議会	H25年4月～H26年3月	副会長
	第6次山形県教育振興計画検討委員会	H25年6月～H27年3月	社会教育・スポーツ専門委員会・委員長
	広野地区農地整備事業推進協議会環境情報部会	H24年4月～	委員
③ その他			
NPO 法人庄内海岸のクロマツ林をたたえる会		H25年4月～H27年3月	理事
特定非営利活動法人パートナーシップオフィス		H25年4月～H27年3月	理事
庄内・社会基盤技術フォーラム運営委員会		H25年4月～H26年3月	委員
美しいやまがたの海プラットフォーム		H25年4月～H26年3月	運営委員／協働事務局
第13回飛島クリーンアップ実行委員会		H25年3月～H25年5月	実行委員
第6回栗島（新潟県）クリーンアップ実行委員会		H25年4月～H25年6月	島外委員
第9回飛島天保そば・ごどいも収穫祭実行委員会		H25年5月～H25年9月	委員
第7回三島交流会 in 飛島（佐渡・栗島・飛島）実行委員会		H25年6月～H25年9月	委員
（他大学・他校講師） 山形県小国高等学校「地域文化学」		H25年5月～H25年11月	講師（地域情報発信誌”Oguu” NO.6 作成）

<u>(その他)</u> アイランダー2013		H25 年 11 月	とびしま未来協議会出展(池袋サンシャインシティ・文化会館／国土交通省離島振興課、(財)日本離島センター主催、教員・学生)
しまっくくりサミット 2013		H25 年 11 月	全国離島振興協議会主催

職位 氏 名	准教授 佐野治				
1 専門分野、研究テーマ	社会福祉学、相談援助				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※（査読付論文の区別） （名称）					
4 研究ノート（名称） 長久手市地域福祉計画策定に向 けての市民意識調査報告	共著	2013	愛知県立大学教育福 祉学部社会福祉学科 発行「社会福祉研究」 第15巻	21－33	長久手市及び長久手市社 会福祉協議会による地域 福祉計画及び地域福祉活 動計画策定のための調査 報告及び課題等の提言を 行ったもの。
5 資（史）料 （名称）					
6 翻訳 （名称）					
7 学会発表 （名称）					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務（委員／委員長等）
① 県・市町村の委員会	長久手市地域福祉計画 及び長久手市地域福祉 活動計画策定委員会	平成25年度－平成26年度	委員長
② その他		H 年 月～H 年 月	

職位 氏 名	准教授 澤邊みさ子				
1 専門分野、研究テーマ	障害者福祉、障害者雇用、社会福祉				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※（査読付論文の区 別） (名称)					
4 研究ノート 「酒田市における福祉協力 員の活動実態と課題～ひと り暮らし高齢者への見守り 活動の視点から～」	共 (武田真 理子・小 関久恵・ 照井孫 久・澤邊 みさ子)	2013 年	東北公益文科大学 研究論集 第 24 号	pp. 81-100 (内、澤邊 担当は pp. 92-96)	山形県酒田市におけるひと り暮らし高齢者の見守 り活動の各担い手の活動 内容の実態と、担い手や地 域が抱える課題等を、ヒヤ リング調査、アンケート調 査によって把握すること を目的に行った、受託研究 「平成 24 年度酒田市大学 まちづくり政策形成事業」 の成果を一部をまとめた。 平成 24 年度は、民生委 員・児童委員に対するアン ケート調査を実施したが、 平成 24 年度は福祉協力員 を対象に調査を実施した。
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員／委員長等)
① 県・市町村の委員会	山形県介護保険審査会 酒田市障害者施策推進 協議会 鶴岡市障害者施策推進 協議会 庄内地域福祉有償運送 運営協議会 酒田市公益活動推進委 員会 鶴岡市総合計画審議会健 康福祉専門委員会	H25 年 4 月～H28 年 3 月 H24 年 7 月～H26 年 6 月 H24 年 4 月～H26 年 3 月 H24 年 4 月～H25 年 3 月 H24 年 4 月～H26 年 3 月 H25 年 7 月～H26 年 3 月	委員 委員 委員 構成員 委員長 委員

	山形県立特別支援学校 学校評議員	H25 年 4 月～H26 年 3 月	学校評議員
	酒田市立浜田小学校学 校協議員	H25 年 5 月～H26 年 3 月	学校評議員
② その他	酒田市立看護学校 鶴南ゼミ	H25 年 4 月～H25 年 9 月 H25 年 4 月～H26 年 2 月	非常勤講師 特別講師
	日本ニュージーランド 学会	H24 年 6 月～H26 年 6 月	監事
	日本公益学会理事	H25 年 4 月～H26 年 3 月	理事
	酒田市ボランティアセ ンター運営委員	H24 年 6 月～H26 年 3 月	委員長
	特定非営利活動法人あ らた	H25 年 4 月～H27 年 3 月	理事
	サポートセンターあお ぞら苦情解決委員会	H25 年 4 月～H26 年 3 月	委員
	庄内障害者就業・生活支 援センター苦情解決委 員会	H25 年 4 月～H26 年 3 月	委員
	社会福祉法人光風会苦 情解決第三者委員会	H25 年 4 月～H26 年 3 月	委員
	吹浦荘苦情解決委員会	H25 年 4 月～H27 年 3 月	委員
	社会福祉法人酒田市社 会福祉協議会苦情解決 第三者委員	H25 年 6 月～H27 年 5 月	委員
	協同集会 in 酒田	H25 年 5 月 18 日	シンポジウム・コーディネ ーター
	(財)青少年国際交流推進 センター 青少年社会 活動コアリーダー育成 プログラム事前研修	H25 年 6 月 18 日	講師
	酒田市市民大学講座 あらた介護職員初任者 研修（通信）	H25 年 9 月 25 日 H25 年 9 月 29 日	講師 講師
	日本ニュージーランド学 会第 67 回研究会	H25 年 10 月 26 日	司会
	生活困窮者問題シンポジ ウム	H25 年 11 月 16 日	シンポジウム・コーディネ ーター
	庄内町ボランティア連絡 協議会創立 5 周年記念会 2010「地域生活支援セミ ナーIN 庄内」	H25 年 11 月 25 日 H25 年 11 月 28 日	講師 進行役

職位 氏 名	准教授 内藤 悟				
1 専門分野、研究テーマ	環境法、地方自治法				
	単・共 著の別	発行又 は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書					
3 学術論文 ※（査読付論文の区別） ・資源開発における環境配慮（査読有）	単	2014 年	自治研究 90 巻 2 号	23 頁	
4 研究ノート					
5 資（史）料					
6 翻訳					
7 学会発表 岩石採取における環境配慮	単	2013 年	第 17 回環境法政策学 会学術大会		
8 その他					
① 専門誌					
・条例による再生エネルギーの利活用	共	2013 年	自治体法務 NAVI56	4 頁	
・条例による農的空間の管理 農地の 保全・活用に関する条例	共	2013 年	自治体法務 NAVI54	4 頁	
9 社会貢献	委員会等名称		年 限	職務（委員／委員長等）	
① 県・市町村の委員会 ・山形県職業能力開発審議会委員 ・遊佐町条例策定検討委員会アドバイザー ・酒田市情報公開・個人情報保護審査会 ・酒田地区広域行政組合情報公開・個人 情報保護審査会				委員 委員会アドバイザー 委員 委員	
② その他 酒田市上級スタッフ職員研修（政策法務）				講師	

職位 氏 名	渡辺 暁雄				
1 専門分野、研究テーマ	社会学				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) (名称)					
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ・「平成24年度庄内景観回廊・加茂地区活性化事業地域づくり推進業務」報告書 ・「まちづくりデザインスタジオⅡ 2012」 ③ その他 ・山形新聞連載「ことばの杜へ」 ・「遊びは仕事に優先するもの」	単 共 単 単	2014. 3 2013. 10 2013. 05, 18 07. 13 09. 07 11. 02 12. 28 2014. 03. 01 2914. 01. 01	鶴岡市 本学大学院 山形新聞 アミューズメントジ ャパン	15 頁 4 頁 毎回 900 字前後 4,000 字 (インタビ ュー)	本学委託業務 東北公益文科大学大学院 特別講座 旧温海高校再 生活用プロジェクトのま とめ 連載コラム 映画, 漫画, 歌謡曲などサ ブカルチャー作品の中で 用いられる様々なくこと ば>を社会的に読み解 く。 娯楽業界誌でのインタビ ュー

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	・酒田市食育推進委員会 ・酒田市社会教育委員	H18年12月～ H21年5月～	委員長 委員
② その他		H 年 月～H 年 月	

職位 氏 名	准教授 呉 衛峰				
1 専門分野、研究テーマ	比較文学（平安時代の日中比較文学、近代における日中文化交流、翻訳研究）				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※（査読付論文の区別） 梵門と隠逸——『新撰万葉集』の歌と詩——（※査読有り）	単	平成26年3月	『比較文学』第56巻（日本比較文学会）	7-18	『新撰万葉集』研究の成果から出発し、古今集歌九五二における「巖の中」出典について探りながら、和と漢における梵門と隠逸という相互対応・相互補完の関係を考察するものである。
4 研究ノート 銭稻孫による日本小説の中国語訳——志賀直哉の『轉生』を中心に	単	平成26年2月	『東北公益文科大学総合研究論集』第25号	(1)-(8)	志賀直哉の『轉生』の中国語訳において、銭稻孫は「京話訳」、つまり北京方言（日本の場合でいえば江戸弁に相当するか）で翻訳している。その文体的特徴と翻訳戦略を分析し、銭稻孫の翻訳思想を探る。
5 資（史）料 （名称）					
6 翻訳 （名称）					
7 学会発表 Elitism in the Chinese Translations of Waka	単	平成25年7月23日	ICLA(International Comparative Literature Association)XXth Congress, Paris-Sorbonne (Paris IV)		歴史的および社会政治的原因により、和歌の中国語訳は漢詩漢文で行われることが慣例となっている。それは和歌と漢詩訳の両方が理解できる日中の文化的エリートしか鑑賞できないものとなっているので、和歌を日本語で読めない一般の中国人読者のために、異文化の体験という視点から新しい訳し方が実践されるべきだと主張する。
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

職位 氏 名	教授 松田 憲				
1 専門分野、研究テーマ	応用言語学				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※（査読付論文の区別） (名称) 『Immediate Recall Protocol for Diagnostic Tests: An Investigation of Reading Comprehension of Japanese ESL Students』(査読有)	単著	2013 年 10 月 31 日	日本比較文化学会、 Studies in Comparative Culture No. 108	pp. 163-171	本論は、海外で第二言語としての英語（ESL）を学ぶ8名の日本人英語学習者を対象に、英文読解におけるリコールテストの妥当性と信頼性を考察している。
4 研究ノート (名称)					
5 資（史）料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務（委員／委員長等）
① 県・市町村の委員会	酒田市都市計画審議会	H25 年 12 月～H27 年 12 月	委員
	鶴岡南高等学校(通信制) 学校評議員会	H25 年 5 月～H26 年 3 月	評議員
	鶴岡南高等学校(通信制) 学校関係者評価委員会	H25 年 5 月～H26 年 3 月	委員
② その他		H 年 月～H 年 月	

職位 氏 名	准教授 古山 隆				
1 専門分野、研究テーマ	資源工学、リサイクル工学 廃自動車シュレッダーダストの再資源化に関する研究				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』	な				
3 学術論文 ※（査読付論文の区別） （名称）					
4 研究ノート （名称）					
5 資（史）料 （名称）					
6 翻訳 （名称）					
7 学会発表 （名称）	単著	2013年5月22 日	自動車技術会春季大会フォーラム「使用済み自動車における資源活用の現状と課題」	p. 11-14	本稿では、自動車リサイクル法第28条で認定されているASRリサイクル施設のリサイクル技術を分類し、それらの状況を報告するとともに、各リサイクル施設の問題や課題について説明した。
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務（委員／委員長等）
① 県・市町村の委員会	・酒田市廃棄物減量等推進審議会 ・鶴岡市廃棄物減量等推進審議会	H25年4月～H26年3月 H25年4月～H26年3月	委員 委員
② その他	・資源・素材学会 ・自動車技術会リサイクル部会	H25年4月～H26年3月 H25年4月～H26年3月	編集幹事 幹事

職位 氏 名	准教授 松山 薫				
1 専門分野、研究テーマ	地理学				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) (名称)					
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称) 「軍事都市の市長経歴にみる 「輸入」と「土着」ー戦前期の呉 市を事例としてー」	単	H25 年 5 月 19 日	第 56 回歴史地理学 会大会		広島県呉市を事例として、 戦前期の計 12 名の市長に ついて、その前歴と在任中 の主要業績、退職理由等を 調査し、横須賀、舞鶴など 他の軍港都市と比較した。 呉市は他の軍港都市と同 様、市長の出自に「土着 (地 方名望家)」「輸入 (軍人 系)」「輸入 (内務省系)」 の 3 系統があり、かつ任期 を全うできた市長は少な い。一方、呉市の軍人出身 市長は初代ー第 3 代 (第 2・3 代は同一人物) の 2 名のみで、その後は地方名 望家と内務省系で占めら れること、在任期間が長い のはむしろ地方名望家市 長であることなどが、他の 軍港都市との相違点とし てあげられる。
「昭和初期における山形県庄内 地域の観光地形成とスキー場ー 「善寶寺スキー場」を事例とし てー」	単	H25 年 11 月 9 日	2013 年人文地理学会 大会		スキー場研究の大半は戦 後の事例を対象としてお り、戦前のスキー場の研究 は少ない。大正から昭和戦 前期にかけては、スキーが 各地に普及していく時期 であり、スキー場は重要な 観光資源と位置づけられ る一方で、単なる運動競技 場としてのみならず、学校 教育の場、さらにはいわゆ

					る戦技スキーの訓練場等、さまざまな役目を担わされてきた。本研究では、山形県庄内地域の、かつて多くのスキー客で賑わったという「善寶寺スキー場」を事例として、戦前期におけるローカルなスキー場の利用実態の一端を示した。また、このスキー場は戦後廃止され、記録自体が少ないため、当時の地元新聞、スキーや観光関係の雑誌等の記事やパンフレット、近隣小中学校の記念誌等を収集し、それらを整理・分析した。
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務（委員／委員長等）
① 県・市町村の委員会	山形県公共事業評価監視委員会 「若者のUターンに関する意見交換会・講演会」（山形県） 遊佐町観光戦略会議	H24 年 4 月～H26 年 3 月 H26 年 1 月 24 日 H25 年 6 月～H26 年 3 月	委員 有識者 アドバイザー
② その他	平成 25 年度東北公益文科大学公益大イブニングカフェ 「「観光地」の記憶を掘り起こし記録するー鶴岡市の西郷、加茂、大山各旧町村域を中心にー」	H25 年 6 月 20 日	講師

職位 氏 名	准教授 武田真理子				
1 専門分野、研究テーマ	社会政策、社会保障、福祉まちづくり（地域福祉）				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『世界の社会福祉年鑑 2013』	共（編集 代表：宇 佐 美 耕 一、小谷 眞男、後 藤玲子、 原島博）	2013年12月	旬報社	pp.267-280	第1部 各国社会福祉の 現状 III オセアニア「ニ ュージーランド」を担当 執筆。
3 学術論文 ※（査読付論文の区 別） 「ニュージーランド・カンタ ベリー地震における震災復興 と社会保障」	単（依頼 論文）	2014 年 6 月 （予定）	国立社会保障・人 口問題研究所『海 外社会保障研究』 第187号		特集「大震災と社会保障」 への投稿依頼論文として 執筆したもの。
4 研究ノート 「酒田市における福祉協力員 の活動実態と課題～ひとり暮 らし高齢者への見守りの視点 から～」	共（武田 真 理 子・ 照 井 孫 久・小 関 久 恵・澤 邊 み さ 子）	2013 年 9 月	『東北公益文科学 大学総合研究論集』 第24号	pp. 81-100	平成24年度酒田市大学ま ちづくり政策形成事業と して実施した酒田市福祉 協力員を対象としたアン ケート調査及びひとり暮 らし高齢者の見守り活動 の担い手に関する調査の 結果をまとめた報告書の 一部を掲載した。
5 資（史）料 （名称）					
6 翻訳 （名称）					
7 学会発表 「カンタベリー地震の復興プ ロセス：市民・行政の連携を 中心に」	共（和田 明子との 共 同 報 告）	2013年10月 26 日	日本ニュージーラ ンド学会第67回研 究会		大東文化大学にて開催。
8 その他 ② 研究調査報告書 「酒田市における家庭教育支 援に関する調査研究」（平成 25年度酒田市大学まちづくり 政策形成事業報告書） ③ その他 「私たちが安心して暮らし続 けられる庄内地域を目指し	共（國眼 真 理 子・ 伊藤眞知 子・渡辺 暁雄・武 田 真 理 子・竹原 孝太・小 関久恵） 単	2014 年 3 月 2013 年 12 月	東北公益文科大学 山形県庄内総合支 庁『高齢者見守り・	 pp. 2-3	「家庭教育」に関する論 点を整理した上で、ヒア リング調査と資源調査に 基づき酒田市の家庭教育 支援の実態を整理し、そ の上で青森県弘前市にお ける関係機関等へのヒア リング調査を行った結果 を報告書としてまとめ た。 平成23年度より山形県庄 内総合支庁が実施した 「高齢者見守り・支え合

て」			支え合い活動推進 事業 モデル取組 地区 活動事例 集』		い活動推進事業」のアド バイザーとして監修を行 った同報告書への寄稿 文。
----	--	--	---------------------------------------	--	--

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務（委員／委員長等）
① 県・市町村の委員会	山形県立酒田光陵高等学校	H24 年 4 月～H26 年 3 月	評議員・評価委員 会長
	酒田市認可外保育施設審議 会	H20 年 4 月～H 年 月	
	酒田市子ども・子育て会議	H25 年 11 月～H27 年 11 月	会長
	「子育てするなら山形県」 推進協議会	H24 年 2 月～H26 年 1 月	委員
	鶴岡市地域コミュニティ活 性化推進委員会	H25 年 3 月～H27 年 3 月	会長
	庄内地域高齢者見守り・支 え合い活動推進会議	H25 年 4 月～H26 年 3 月	アドバイザー
	山形県議会個人情報保護運 営審議会	H25 年 3 月～H27 年 2 月	委員
	山形県 NPO 推進委員会 山形県総合政策審議会土地 利用部会	H25 年 8 月～H27 年 7 月 H25 年 7 月～H27 年 4 月	委員長 特別委員
② その他	日本ニュージーランド学会	H22 年 6 月～H 年 月	理事
	公益教育研究会	H17 年 9 月～H 年 月	副会長
	山形県社会福祉協議会	H25 年 7 月～H27 年 7 月	監事
	社会福祉法人正覚会	H18 年 6 月～H 年 月	監事
	社会福祉法人あすなろ福祉 会	H24 年 8 月～H26 年 8 月	評議員
	福祉サービス第三者評価事 業評価機関運営・評価調 査者	H17 年 12 月～H 年 月	平成 25 年度 2 件の評価実施担 当
	※講演については省略		

職位 氏 名	准教授 西村まどか				
1 専門分野、研究テーマ					
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 □ (査読付論文の区別) (名称) N = 6 conformal supergravity in three dimensions (査読付)	共著	2013	JHEP 10 (2013) 123	16 pages	Bagger-Lambert-Gustavsson 理論を 3 次元 $N=8$ のオフシエル共形超重力理論背景に結合させた。共形超重力理論の多重項の局所変換則は 4 次元 $N=8$ $SO(8)$ のゲージ化された超重力理論のものと同一である。結合理論において完全なラグランジアン と局所対称性を求めた。応用として平坦な背景におけるスーパーカレント多重項も求めた。
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員／委員長等)
1 県・市町村の委員会	ものづくり運営委員会	H24 年 4 月～H 25 年 3 月	委員
2 その他		H 年 月～H 年 月	

職位 氏 名	准教授 鎌田剛				
1 専門分野、研究テーマ	知識経営、医療経営、福祉経営、ソーシャルワーク				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) (名称)					
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員／委員長等)
① 県・市町村の委員会			
② その他	鶴岡市居宅介護支援センター主任介護支援専門員研修会「スーパービジョン」	H25 年 6 月 27 日	講師
③	山形県老人福祉施設協議会研修「スーパービジョン、施設ケアマネジメントの科学」	H25 年 10 月 17 日	講師
④	鶴岡市居宅介護支援事業所主任介護支援専門員研修会「ケアプラン点検」	H25 年 11 月 25 日	講師
⑤	鶴岡市「地域リーダー養成研修」	H25 年 12 月 13 日	講師
⑥	ローズの会講演「地 (知) の拠点整備事業について」	H26 年 2 日 4 日	講師
⑦	鶴岡市倫理法人会モーニングセミナー「地域と大学による人材育成」	H26 年 2 日 5 日	講師
⑧	鶴岡市居宅介護支援センター主任介護支援専門員研修会「事例検討」	H26 年 2 日 17 日	講師
⑨	山形県社会福祉士会専門研修「実践研究の方法」	H26 年 3 日 1 日	講師
⑩	山形県医療ソーシャルワーカー協会研修「研究発表、スーパービジョン」	H26 年 3 日 15 日	講師

職位 氏 名	准教授 神田直弥				
1 専門分野、研究テーマ	人間工学、交通心理学				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) (名称)					
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称) 自転車運転時におけるレインコ ート着用の影響	単	2014	日本人間工学会東北 支部研究会	11 頁	自転車運転中のレインコ ート着用が自発的な後方 確認の減少や後方確認時 における対象物の発見後 れや見落としを増大させ ること、フード形状を工夫 することでパフォーマンス 低下の軽減が図れるこ とを確認した。
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員／委員長等)
① 県・市町村の委員会	酒田市地域公共交通会 議	H24～	委員
② その他	山形県鶴岡南高等学校 SSH 運営指導委員会	H24.9～	委員

職位 氏 名	准教授 竹原幸太				
1 専門分野、研究テーマ	児童福祉・司法福祉・教育学				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『ケアと人権』	共	2013 年 10 月	成文堂	pp. 27-34	宿谷晃弘・宇田川光弘・河合正雄編著。2 章「問題行動をめぐる生徒指導とケア」を担当。毅然とした対応による生徒指導の課題とクラス全体をケアしていく修復的実践について論じた。
3 学術論文 ※（査読付論文の区別） （名称） 「児童の権利」を軸とする総合的児童保護法構想の歴史的研究－菊池俊諦の児童保護思想に注目して（査読有） 対話と参加を基盤とする学校コミュニティ形成に見る道德教育への示唆－ジャスト・コミュニティと修復的実践のアメリカ教育史的考察を通じて 少年法「改正」論議に見る子ども観・自律観の問題－非行克服過程における成長発達権	単 単 単	2013 年 6 月 2014 年 2 月 2014 年 3 月	『日本社会教育学会紀要』No49-2 『東北公益文科大学総合研究論集』25 『日本教育法学会年報 教育の政治化と子ども・教師の危機』43 号、有斐閣	pp. 23-32 pp. 27-50 pp. 157-158	戦前の児童保護事業における総合的児童保護法構想につき、菊池俊諦の児童保護思想に注目して論じた。本稿は科研費研究の一部として発表した。 学校全体で子どもの対話と参加を志向する教育実践と道德教育との関連につき、アメリカのジャスト・コミュニティと修復的実践の比較から論じた。 少年法「改正」論議における子ども観・自律観の問題を指摘しつつ、成長発達権論の教育学的意義について論じた。
4 研究ノート （名称）					
5 資（史）料 （名称）					
6 翻訳 （名称）					
7 学会発表 （名称） 少年教護事業における「児童の権利」擁護認識－菊池俊諦及びその同行者に注目して	単	2013 年 5 月	第 41 回社会事業史学会（於淑徳大学）		菊池俊諦の同行者たちが教護事業において「児童の権利」をいかに受容し、説いたのかを考察した。とりわけ、森鏡寿、宗像守雄、

少年法「改正」論議に見る子ども観・自律観の問題ー非行克服過程における成長発達権	単	2013 年 5 月	日本教育法学会第 43 回総会（於早稲田大学）		石原登に注目して考察した。なお、本研究は科研費研究の成果報告の一部として報告した。
暴力予防に向けた学校コミュニティ形成としての修復的实践ーIIRP 国際会議の議論から	単	2013 年 11 月	日本教育法学会子ども安全研究会（於日本大学法科大学院）		少年法「改正」論議の沿革をまとめ、そこでの子ども観・自律観の問題を指摘しつつ、成長発達権論の教育学的意義について報告した。
8 その他					
① 専門誌 ジャスト・コミュニティと修復的实践ー対話と参加による学校の問題解決	単	2013 年 3 月	『共生と修復』3 号	pp. 11-13	ジャスト・コミュニティと修復的实践の構造比較から両者の共通点と類似点を明確化した。
いじめ・非行対策と子どもの立ち直り支援	単	2013 年 8 月	『子ども白書 2013』本の泉社	pp. 152-154	いじめ・非行対策の類似点を指摘しつつ、子どもの立ち直り支援を支える社会資源の開拓の必要性を論じた。
② 研究調査報告書 菊池俊諦の児童保護事業職員養成における「児童の権利」擁護認識に関する研究（科研費研究若手B）	単	2013 年 6 月		A4 版 5p	菊池俊諦の児童保護事業職員養成における「児童の権利」擁護認識に関する研究の最終年度報告をまとめた。
平成 25 年度大学まちづくり政策形成事業ー酒田市における家庭教育支援に関する調査研究（報告書）	共	2014 年 3 月		pp. 13-26	平成 25 年度大学まちづくり政策形成事業 1 年次調査報告書。II. 2「児童福祉サービスの展開と課題ー2000 年代を中心として」を執筆した。
③ その他 戦後児童福祉実践における「児童の権利」思想に関する研究（科研費若手B）	単	2013 年 4 月			研究代表として、戦後児童福祉実践における「児童の権利」思想に関する研究（科研費若手B）が新規採択された。
いじめ防止対策推進法の成立と課題	単	2013 年 12 月	公益教養プログラム Forum21（於東北公益文科大学）		2013 年 6 月成立のいじめ防止対策推進法の内容とその実践的課題について

					市民公開研究として報告した。
--	--	--	--	--	----------------

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務（委員／委員長等）
① 県・市町村の委員会	鶴岡市社会福祉協議会法人 後見委員会	2013 年 4 月～2015 年 3 月	委員
	酒田市小・中学校区改編審議会	2013 年 12 月～2014 年 12 月	委員
② その他	庄内地区里親及び七窪思恩園合同懇談会	2014 年 2 月 13 日	助言者

職位 氏 名	講師 山本裕樹				
1 専門分野、研究テーマ	物理学、素粒子理論、インターネット望遠鏡				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) (名称) 「Convergent perturbative nuclear effective field theory」 (査読無し)	共著	2013 年	arXiv:1311.3063	pp. 1-10	pion を含む核子有効理論 の 2 核子セクターに hybrid regularization を 導入してS波の位相のずれ を計算し、Nijmegen のデ ータによく合うことを示 した。
7 学会発表 (名称) 「いつでも・どこでも・だれで も天体観測」	共同出展	2013 年	サイエンスアゴラ 2013 (科学技術振興 機構)		鶴岡南高校と共同でブー スを出展し、インターネッ ト望遠鏡とそれを利用し た取り組みについて紹介。
「天体の光度測定 高校におけ る教育実践活動Ⅰ」	単独、口頭	2013 年	第 4 回慶應義塾大学 インターネット望遠 鏡シンポジウム (慶 應義塾大学自然科学 センター)		鶴岡南高校における鶴南 ゼミで行った変光星の光 度測定について報告。
「ソフト面の活動報告」	単独、口頭	2013 年	第 4 回慶應義塾大学 インターネット望遠 鏡シンポジウム (慶 應義塾大学自然科学 センター)		インターネット望遠鏡の インターフェースのバー ジョンアップ点と今後の 展望を報告。

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会			
② その他 大学コンソーシアムやまがた 慶應義塾大学自然科学センター	企画会議	H25 年 4 月～H26 年 3 月 H25 年 4 月～H26 年 3 月	委員 共同研究員